



PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number: 2000132365 A

(43) Date of publication of application: 12 . 05 . 00

(51) Int. Cl

G06F 3/12
B41J 29/38
G06F 11/30
G06F 13/00

(21) Application number: 10307580

(22) Date of filing: 28 . 10 . 98

(71) Applicant: FUJITSU LTD

(72) Inventor:
KOBAYASHI SUMITAKE
MOCHIZUKI MAMORU
MAYUZUMI YASUO
ARIYAMA KOUTA

(54) PERIPHERAL DEVICE MANAGEMENT DEVICE,
PERIPHERAL DEVICE CONNECTED TO THE
SAME AND PERIPHERAL DEVICE MANAGING
METHOD

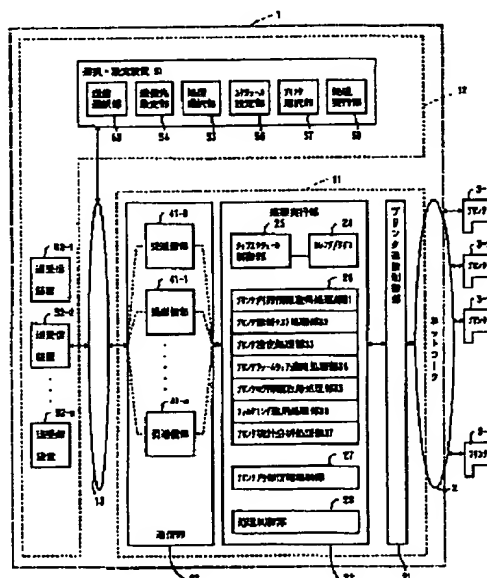
processing part 26. A remote part 12 is connected to the local part 11 through a network 13 and receives the transmitted monitoring result of the printers 3-1 to 3-n.

COPYRIGHT: (C)2000,JPO

(57) Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To easily manage peripheral device with the high degree of freedom by executing a prescribed processing on peripheral device and transmitting the processing result to a monitoring device.

SOLUTION: A local part 11 is mainly formed of a printer communication control part 21, a processing execution part 22 and a communication part 23. The printer communication control part 21 is connected between the processing execution part 22 and a network 2 and it executes communication with printers 3-1 to 3-n through the network 2. In the processing execution part 22, a calendar timer part 24 records present time, and a processing part 26 executes various processings on a job schedule control part 25 in accordance with a schedule that is previously set. A printer inner information storage part 27 stores printer inner information obtained from the printers 3-1 to 3-n by the processing of the processing part 26 and a processing control part 28 controls the processing by the processing part 26 and the transmission of various information obtained by the



米国出願 No. 09/427035

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開 2000-132365

(P 2000-132365A)

(43) 公開日 平成12年5月12日 (2000. 5. 12)

(51) Int. Cl. 7	識別記号	F I	テーマコード* (参考)
G 0 6 F	3/12	G 0 6 F	3/12 K 2C061
B 4 1 J	29/38	B 4 1 J	29/38 Z 5B042
G 0 6 F	11/30	G 0 6 F	11/30 3 2 0 E 5B089
	13/00		13/00 3 5 7 A
審査請求 未請求 請求項の数 1 7		O L	(全 2 4 頁)

(21) 出願番号 特願平10-307580

(22) 出願日 平成10年10月28日 (1998. 10. 28)

(71) 出願人 000005223

富士通株式会社

神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番1号

(72) 発明者 小林 澄武

神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番1号 富士通株式会社内

(72) 発明者 望月 守

神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番1号 富士通株式会社内

(74) 代理人 100070150

弁理士 伊東 忠彦

・最終頁に続く

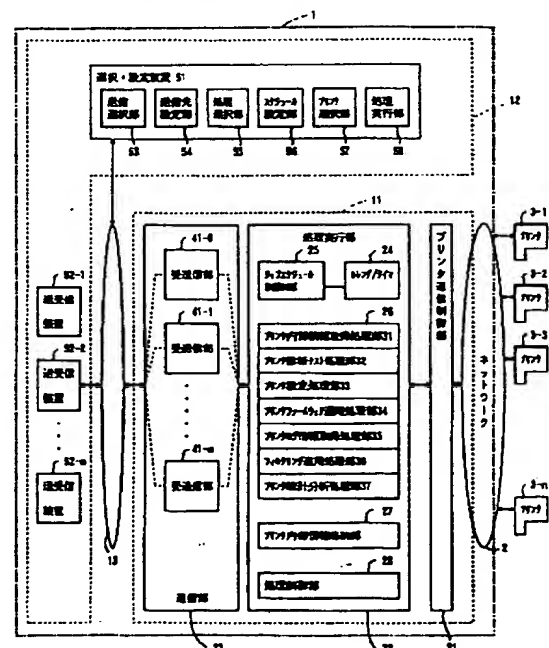
(54) 【発明の名称】 周辺装置管理装置及びそれに接続される周辺装置並びに周辺装置管理方法

(57) 【要約】

【課題】 ネットワークに接続された周辺装置を集中管理するための周辺装置管理装置及び周辺装置管理方法に関し、周辺装置を簡易に、かつ、自由度高く管理できる周辺装置管理装置及びそれに接続される周辺装置並びに周辺装置管理方法を提供することを目的とする。

【解決手段】 複数のプリンタに対して予め設定された時間毎にコマンドを供給し、プリンタからの応答を受信して、格納し、プリンタを管理する監視装置に通知する。

本発明の一実施例のプリンタ装置
運用管理システムのブロック構成図



【特許請求の範囲】

【請求項 1】 周辺装置と該周辺装置の状態を監視する監視装置との間に接続され、該周辺装置の状態を管理する周辺装置管理装置であって、前記周辺装置に対して処理を実行する処理実行手段と、前記処理実行手段での処理結果を前記監視装置に送信する送信手段とを有することを特徴とする周辺装置管理装置。

【請求項 2】 前記処理実行手段による前記周辺装置に対する前記処理を設定する実行処理設定手段を有することを特徴とする請求項 1 記載の周辺装置管理装置。

【請求項 3】 前記処理実行手段により前記周辺装置に対して前記処理を実行する時間を設定する時間設定手段を有することを特徴とする請求項 1 又は 2 記載の周辺装置管理装置

【請求項 4】 前記処理実行手段により前記周辺装置に対して一定時間毎に前記処理を実行することを特徴とする請求項 1 又は 2 記載の周辺装置管理装置

【請求項 5】 前記処理実行手段により処理が実行される周辺装置を選択する周辺装置選択手段を有することを特徴とする請求項 1 乃至 4 のいずれか一項記載の周辺装置管理装置。

【請求項 6】 前記処理実行手段での処理結果を前記送信手段により送信する前記監視装置を選択する送信先選択手段を有することを特徴とする請求項 1 乃至 5 記載の周辺装置管理装置。

【請求項 7】 前記処理実行手段での処理結果を記憶する処理結果記憶手段を有することを特徴とする請求項 1 乃至 6 のいずれか一項記載の周辺装置管理装置。

【請求項 8】 管理装置により管理された周辺装置であって、

内部の状態を検出する内部情報検出手段と、前記内部情報検出手段で検出された内部情報を前記管理装置に通知する通知手段とを有することを特徴とする周辺装置。

【請求項 9】 前記通知手段は、前記内部情報検出手段で前記内部情報を検出したときに、前記管理装置に前記内部情報を通知することを特徴とする請求項 8 記載の周辺装置。

【請求項 10】 前記通知手段は、前記内部情報検出手段で検出された前記内部情報を前記管理装置からの指示に応じて前記管理装置に通知することを特徴とする請求項 8 又は 9 記載の周辺装置。

【請求項 11】 前記内部情報検出手段で検出された前記内部情報を記憶する内部情報記憶手段を有することを特徴とする請求項 8 乃至 10 のいずれか一項記載の周辺装置。

【請求項 12】 周辺装置の状態を管理し、該周辺装置の状態を監視装置に通知する周辺装置管理方法であって、

前記周辺装置に対して所定の処理を実行する処理実行手順と、

前記処理実行手順での処理結果を前記監視装置に送信する送信手順とを有することを特徴とする周辺装置管理方法。

【請求項 13】 前記処理実行手順での処理結果を記憶する処理結果記憶手順を有することを特徴とする請求項 12 記載の周辺装置管理方法。

【請求項 14】 前記処理実行手順は、予め設定されたスケジュールに応じて前記周辺装置に対して所定の処理を実行することを特徴とする請求項 12 又は 13 記載の周辺装置管理方法。

【請求項 15】 前記送信手順は、予め設定されたスケジュールに応じて前記処理実行手順での処理結果を前記監視装置に送信することを特徴とする請求項 12 乃至 14 のいずれか一項記載の周辺装置管理方法。

【請求項 16】 前記処理実行手順は、一定時間毎に前記周辺装置に対して所定の処理を実行することを特徴とする請求項 12 乃至 15 のいずれか一項記載の周辺装置管理方法。

【請求項 17】 前記送信手順は、一定時間毎に前記処理実行手順での処理結果を前記監視装置に送信することを特徴とする請求項 12 乃至 16 のいずれか一項記載の周辺装置管理方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は周辺装置管理装置及び周辺装置管理方法に係り、特に、ネットワークに接続された周辺装置を集中管理するための周辺装置管理装置及び周辺装置管理方法に関する。近年、プリンタをネットワークに接続し、プリンタをネットワークに接続された複数の情報処理装置で共用するシステムが開発されている。

【0002】一方、プリンタは通常、保守管理が行われている。プリンタの保守管理は、作業員が現地に行って作業をするのが通常である。よって、システムの運営にあたって、保守管理作業に非常な労力がかかっていた。このため、保守管理作業を軽減できるシステムが望まれてる。

【0003】

【従来の技術】プリンタのメーカーが行う保守の形態には、定期保守及び障害対応の二つがある。定期保守では、数週間～数カ月の一定期間毎にプリンタが設置されている現地を訪問し、プリンタの保守、即ち、プリンタの状態を確認し、消耗の激しい部品を交換したり、汚れた箇所を清掃したりする。特に問題が見られなければ、プリンタの状態確認だけで済む。

【0004】また、障害対応では、プリンタにトラブルが発生し、何らかの処置を早急に実施しなければならないケースがある。通常、プリンタのユーザがメーカーに對

してトラブル発生を連絡し、メーカーの保守エンジニアが現地に向かうことになる。いずれにしても、プリンタに対して何らかの保守運用作業を行う場合、プリンタが設置されている現地まで行き、その場所で保守作業を行う必要があったため、保守管理が大変であるなどの問題点があった。

【0005】また、保守作業には、部品交換や清掃など、物理的な部品交換や分解などを伴う保守作業及びプリンタの状態を確認、プリンタの設定、ファームウェアの更新など物理的な部品交換や分解を伴わない保守作業がある。物理的な部品交換や分解を伴わない保守作業は、プリンタの操作パネルやパソコン上の保守ツールを使って作業していた。例えば、設定を行うには、装置の前まで行き、操作パネルで設定していた。あるいは、プリンタの近くのパソコンよりコマンドを発信して設定を行っていた。ファームウェアを更新するのであれば、フロッピディスクなどの媒体を持参し、プリンタ装置本体に内蔵したフロッピディスク装置に挿入してファームウェアをロードしていた。これらの作業は、作業自体は単純であるが、対象となるプリンタの台数が多くなると作業時間が長くなり、ミスも発生し易くなる。

【0006】いずれにせよ、物理的な部品交換や分解を伴う保守作業を含めて保守エンジニアが現地に行き、その場、その時に作業するしかなかった。図1は従来の周辺装置保守管理の一例の作業フローチャートを示す。プリンタの業務運用/保守の作業では、運用が開始されると、○月1日の日常の業務運用(ステップS1-1)、○月2日の日常の業務運用(ステップS1-2)、○月3日の日常の業務運用(ステップS1-3)、○月4日の日常の業務運用(ステップS1-4)・・・○月×日の日常の業務運用(ステップS1-1n)を行い、定期保守を周期的に行う(ステップS1-2)。

【0007】なお、ステップS1-2の定期保守の実施周期は機種や契約などにより異なる。メーカーの定期保守は、一定期間毎に実施される。このとき、ユーザの業務時間外を利用して各部の状態確認を行ったり、清掃を行ったり、必要であれば部品交換している。次に、上記ステップS1-11～S1-1nの日常の業務運用について詳細に説明する。

【0008】図2は従来の周辺装置の保守管理の一例の日常業務の作業フローチャートを示す。日常業務運用時(ステップS2-1)、プリンタでトラブルが発生した場合(ステップS2-2)、まず、エンドユーザによりトラブルが対処される(ステップS2-3)。

【0009】ステップS2-3でエンドユーザによりトラブルが対処できない場合、あるいはトラブルが多発する場合には(ステップS2-4)、管理部門に対処を依頼する(ステップS2-5)。管理部門で対処できる場合には管理部門で対処する(ステップS2-6、S2-

7)。また、管理部門で対処できない場合には、メーカーにトラブル対処を依頼し、トラブルに対処する(ステップS2-8)。

【0010】

【発明が解決しようとする課題】しかるに、従来、プリンタ装置を保守しようとした場合、保守エンジニアがプリンタ装置が設置されている現地(ユーザ先)を訪問して、定期保守あるいはトラブル対応等を行っていた。通常の場合、保守エンジニアが現地を訪問するのは、業務が無い時、つまり業務時間後や深夜である。ユーザに迷惑をかけて業務を止めてまで保守をすることはできないからである。

【0011】これは、作業する場所と作業可能な時間が限られることになり、保守エンジニアにとって肉体的にも精神的にも負担となっている。また、出張費や深夜作業による時間外手当などによって保守コストの増大にもつながっている。一方、トラブルが発生した時、ユーザは業務の中断を余儀なくされるので、自分で解決するか、手に負えなければシステム管理部門またはメーカーにトラブル解決を依頼することになる。メーカーにトラブル対処を依頼するケースは大抵、発生からかなり時間が経過しており、早急な対処を要求され、しかもトラブルの情報が正確に伝わらない場合が多く、容易には対処できない場合が多い等の問題点があった。

【0012】本発明は上記の点に鑑みてなされたもので、周辺装置を簡易に、かつ、自由度高く管理できる周辺装置管理装置及びそれに接続される周辺装置並びに周辺装置管理方法を提供することを目的とする。

【0013】

【課題を解決するための手段】本発明は、周辺装置と周辺装置との状態を監視する監視装置との間に接続され、周辺装置の状態を管理する周辺装置管理装置であって、周辺装置に対して所定の処理を実行し、その処理結果を周辺装置の状態を監視する監視装置に送信する。

【0014】また、本発明は、前記処理実行手段による前記周辺装置に対する前記処理を設定する実行処理設定手段を有することを特徴とする。さらに、本発明は、前記処理実行手段により前記周辺装置に対して前記処理を実行する時間を設定する時間設定手段を有することを特徴とする。また、本発明は、処理実行手段により処理が実行される周辺装置を選択する周辺装置選択手段を有することを特徴とする。

【0015】さらに、本発明は、前記処理実行手段での処理結果を前記送信手段により送信する前記監視装置を選択する送信先選択手段を有することを特徴とする。また、本発明は、前記処理実行手段での処理結果を記憶する処理結果記憶手段を有することを特徴とする。本発明によれば、現地に行くことなく場所、時間を問わずプリンタ装置を監視することができるので、トラブルの兆候を掴むことができ、致命的なトラブルに発展する前に対

処できる。

【0016】また、本発明によれば、プリンタにトラブルが発生した場合、迅速かつ正確な情報収集ができるので、迅速なトラブル解決が望める。さらに、一保守エンジニアの出張費、時間外勤務を減らすことができるので、保守コストを安く抑えることができる。

【0017】

【発明の実施の形態】図3は本発明の一実施例のシステム構成図を示す。本実施例では、周辺装置管理システムとして、プリンタ装置運用管理システムについて説明する。本実施例のプリンタ装置運用管理システム1は、ネットワーク2を介してネットワーク2に接続されたコンピュータで共有されるプリンタ3-1～3-nに接続され、プリンタ3-1～3-nをネットワーク2を介して管理運用する。

【0018】図4は本発明の一実施例のプリンタ装置運用管理システムの概略図を示す。プリンタ装置運用管理システム1は、ローカル部11及びリモート部12から構成される。ローカル部11は、ネットワーク2を介してプリンタ3-1～3-nと接続されており、プリンタ3-1～3-nの状態を監視し、ネットワーク13を介してリモート部12に送信する。

【0019】リモート部12は、ローカル部11とネットワーク13を介して接続されており、ローカル部11からネットワーク13を介して送信されたプリンタ3-1～3-nの監視結果を受信する。また、リモート部12はプリンタ3-1～3-nの状態に応じてネットワーク2、13、ローカル部11を介してプリンタ3-1～3-nを操作する。

【0020】図5は本発明の一実施例のプリンタ装置運用管理システムのブロック構成図を示す。ローカル部11は、主にプリンタ通信制御部21、処理実行部22、通信部23から構成される。プリンタ通信制御部21は、処理実行部22とネットワーク2との間に接続され、ネットワーク2を介してプリンタ3-1～3-nとの通信を行う。

【0021】処理実行部22は、カレンダータイマ部24、ジョブスケジュール制御部25、処理部26、プリンタ内部情報格納部27、処理制御部28から構成される。カレンダータイマ部24は、現在の時刻を計時する。ジョブスケジュール制御部25は、カレンダータイマ部24を参照して、予め設定されたスケジュールに応じて処理部26での処理の実行を制御する。

【0022】処理部26は、ジョブスケジュール制御部25に予め設定されたスケジュールに応じて各種処理を実行する。プリンタ内部情報格納部27は、処理部26の処理によってプリンタ3-1～3-nから取得したプリンタ内部情報を格納する。処理制御部28は、処理部26による処理及び処理部26で取得した各種情報の送信を制御する。

【0023】処理部26は、プリンタ内部情報取得処理部31、プリンタ診断テスト処理部32、プリンタ設定処理部33、プリンタファームウェア適用処理部34、プリンタログ情報取得処理部35、フィルタリング適用処理部36、プリンタ統計分析処理部37から構成される。プリンタ内部情報取得処理部31は、プリンタ3-1～3-nからプリンタの状態を示す内部情報を取得する処理を実行する。ここで、プリンタ内部情報取得処理部31について詳細に説明する。

10 【0024】図6は本発明の一実施例のプリンタ内部情報取得処理部のブロック構成図を示す。プリンタ内部情報取得処理部31は、取得情報項目指定手段31a、プリンタ内部情報取得制御部31b、時間設定手段31cから構成される。取得情報項目指定手段31aは、プリンタ3-1～3-nから取得すべき内部情報項目が設定されており、プリンタ内部情報取得制御部31bにプリンタ3-1～3-nから取得すべき内部情報項目を指示する。

20 【0025】プリンタ内部情報取得制御部31bは、時間設定手段31cに設定された時間毎にプリンタ3-1～3-nに取得情報項目指定手段31aにより指定された内部情報を得るためのコマンドをプリンタ3-1～3-nに供給し、取得情報項目指定手段31aで指定されたプリンタ内部情報を取得し、プリンタ内部情報格納部27に格納する。

30 【0026】時間設定手段31cには、プリンタ3-1～3-nにアクセスしてプリンタ内部情報を取得する間隔が設定され、プリンタ内部情報取得制御部31bにプリンタ内部情報を取得するタイミングを指示する。また、図5に示されるプリンタ診断テスト処理部32は、プリンタ3-1～3-nを診断する処理を行う。ここで、プリンタ診断テスト処理部32について詳細に説明する。

40 【0027】図7は本発明の一実施例のプリンタ診断テスト処理部のブロック構成図を示す。診断テスト項目指定部32a及びプリンタ診断テスト制御部32bから構成される。診断テスト項目指定部32aには、プリンタ3-1～3-nを診断すべき項目が設定され、プリンタ診断テスト処理部32bに指示する。プリンタ診断テスト処理部32bは、診断テスト項目指定部32aからの指示に応じた診断テストを実行するためのコマンドをプリンタ3-1～3-nに供給する。また、プリンタ診断テスト制御部32bは、プリンタ3-1～3-nに送信したコマンドによりプリンタ3-1～3-nから得られた診断結果を通信部23を介してリモート部12に送信する。

50 【0028】さらに、図5に示されるプリンタ設定処理部33は、プリンタ3-1～3-nの設定項目と設定値を指定する。ここで、プリンタ設定処理部33について詳細に説明する。図8は本発明の一実施例のプリンタ設

定処理部のブロック構成図を示す。プリンタ設定処理部 33 は、設定項目／値指定部 33a 及びプリンタ設定制御部 33b から構成される。

【0029】設定項目／値指定部 33a は、プリンタ 3-1 ~ 3-n の設定項目と設定値をプリンタ設定制御部 33b に指定する。なお、各設定項目は単独で設定しても良いし、一括で設定することもできる。プリンタ設定制御部 33b は、プリンタ設定項目／値指定部 33a で指定された設定項目／値を指定されたプリンタに対して設定指示するとともに、設定内容を通信部 23 を介して

リモート部 12 に送信する。

【0030】また、図 5 に示されるプリンタファームウェア適用処理部 34 は、プリンタ 3-1 ~ 3-n に適用するファームウェアを設定する。ここで、プリンタファームウェア適用処理部 34 について詳細に説明する。図 9 は本発明の一実施例のプリンタファームウェア適用処理部のブロック構成図を示す。

【0031】プリンタファームウェア適用処理部 34 は、ファームウェア指定部 34a、ファームウェア適用制御部 34b、ファームウェア格納部 34c、ファームウェア登録部 34d から構成される。ファームウェア指定部 34a は、プリンタ 3-1 ~ 3-n に適用するファームウェアのモジュール種類／版数をファームウェア適用制御部 34b に指定する。

【0032】ファームウェア格納部 34c には、各種ファームウェアが格納される。ファームウェア格納部 34c に格納されたファームウェアは、モジュール種類／版数に応じて管理される。ファームウェア登録部 34d は、ファームウェア格納部 34c にファームウェアを登録する。ファームウェア登録部 34d で登録する際に登録したファームウェアのモジュール種類／版数も同時に登録される。

【0033】ファームウェア適用制御部 34b は、ファームウェア指定部 34a で指定されたモジュール種類／版数のファームウェアをファームウェア格納部 34c から読み出して、プリンタ 3-1 ~ 3-n のうち指定されたプリンタに供給する。さらに、図 5 に示されるプリンタログ情報取得処理部 35 は、プリンタ内部情報取得処理部 31 の機能によりプリンタ内部情報として得られた各プリンタのプリンタログ情報をリモート部 12 に送信する。ここで、プリンタログ情報取得処理部 35 について詳細に説明する。

【0034】図 10 は本発明の一実施例のプリンタログ情報取得処理部のブロック構成図を示す。プリンタログ情報取得処理部 35 は、ログ情報項目指定部 35a、ログ情報取得制御部 35b から構成される。ログ情報項目指定部 35a は、プリンタ内部情報格納部 27 からリモート部 12 に取得するログ情報項目を指定する。ログ情報項目としては、例えば、エラーログ情報、消耗品管理カウンタログ情報などがあり、プリンタ内部情報取得処

理部 31 によりプリンタ内部情報として取得され、プリンタ内部情報格納部 27 に格納される。

【0035】ログ情報取得制御部 35b はプリンタ内部情報格納部 27 に格納されたログ情報からログ情報項目指定部 35a の指示項目のログ情報を読み出し、通信部 23 を介してリモート部 12 に送信する。また、図 5 に示されるフィルタリング適用処理部 36 は、予め指定したフィルタリング条件に応じてプリンタ内部情報をフィルタリングしてフィルタリング条件に該当するプリンタ内部情報をリモート部 12 に送信する。ここで、フィルタリング適用処理部 36 について詳細に説明する。

【0036】図 11 は本発明の一実施例のフィルタリング適用処理部のブロック構成図を示す。フィルタリング適用処理部 36 は、フィルタリング項目指定部 36a 及びフィルタリング制御部 36b から構成される。フィルタリング項目指定部 36a は、フィルタリングの条件を指定する。フィルタリング条件としては、例えば、「用紙ジャムが 1 時間以内に 10 回発生」などがある。フィルタリング項目指定部 36a では、「***エラーが***時間内に**回発生」のような汎用的な条件項目をいくつか用意しておき、必要に応じてパラメータ「**」を指定するようにしてもよい。

【0037】フィルタリング制御部 36b は、プリンタ内部情報格納部 27 に格納されたプリンタ内部情報を検索し、フィルタリング項目指定部 36a で指定したフィルタリング条件に該当するプリンタ内部情報を検出したとき、フィルタリング項目指定部 36a で指定したフィルタリング条件を通信部 23 を介してリモート部 12 に通知する。

【0038】さらに、図 5 に示されるプリンタ統計分析処理部 37 は、予め指定した統計分析項目に応じてプリンタ内部情報を統計分析してその結果をリモート部 12 に送信する。ここで、プリンタ統計分析処理部 37 について詳細に説明する。図 12 は本発明の一実施例のプリンタ統計分析処理部のブロック構成図を示す。

【0039】プリンタ統計分析処理部 37 は、統計分析項目指定部 37a 及び統計分析制御部 37b から構成される。統計分析項目指定部 37a は、統計分析項目や期間を指定する。統計分析項目には、例えば、「エラーの日毎の発生件数」や「消耗品の消耗率の変化」等がある。統計分析項目指定部 37a では、統計分析を行う期間の指定も可能である。

【0040】統計分析制御部 37b は、統計分析項目指定部 37a で指定された統計分析項目及び期間に従って、プリンタ内部情報格納部 27 に格納されたプリンタ内部情報から必要な情報を読み出して、指定された統計分析を行い、その分析結果をリモート部 12 に送信する。ここで、統計分析処理の具体例について説明する。

【0041】図 13 は本発明の一実施例のトナー残量の統計分析を説明するための図を示す。例えば、プリンタ

内部情報格納部 27 に格納されたプリンタ内部情報のうちトナー残量の情報を図 13 に「＊」で示すように時系列的に配置することにより、図 13 に「・」で示すようにトナー残量の予測が行える。よって、図 13 に示す特性からトナーがなくなる時間が予測できる。

【0042】図 14 は本発明の一実施例の搬送系の統計分析を説明するための図を示す。また、プリンタ内部情報格納部 27 に格納されたプリンタ内部情報のうち印刷時の搬送時間の回数を計数する。搬送時間が所定の範囲にあれば正常と分析で、速すぎたり、遅すぎたりする場合には異常と判断できる。以上により搬送系の異常を判定できる。

【0043】上記のプリンタ内部情報取得処理部 31、プリンタ診断テスト処理部 32、プリンタ設定処理部 33、プリンタファームウェア適用処理部 34、プリンタログ情報取得処理部 35、フィルタリング適用処理部 36、プリンタ統計分析処理部 37 での各処理は、後に詳細に説明するような方法で実現される。また、上記の各処理が組み合わされて制御される。

【0044】次に、図 5 に示す処理部 26 を制御する処理制御部 28 について詳細に説明する。図 15 は本発明の一実施例の処理制御部のブロック構成図を示す。処理制御部 28 は、処理指定部 28a、送信指定部 28b、送信先設定部 28c から構成される。

【0045】処理指定部 28a は、リモート部 12 から指示された処理を処理部 26 が実行するように処理を指定する。送信指定部 28b は、処理部 26 での処理結果のリモート部 12 への送信方法を指定する。送信先設定部 28c は、処理部 26 での処理結果のリモート部 12 内で送信先を指定する。

【0046】次に図 5 に示す通信部 23 について説明する。通信部 23 は、図 5 に示すように通信先の数 ($m+1$) に対応した数の ($m+1$) 個の受信部 41-0 ~ 41-m から構成される。受信部 41-0 ~ 41-m は、リモート部 12 から処理を指定するための各種指定情報を受信するとともに、処理実行部 22 での処理結果をリモート部 12 に送信する。

【0047】図 16 は本発明の一実施例の受信部のブロック構成図を示す。受信部 41-0 ~ 41-m は、それぞれ受信制御部 42 及び送信制御部 43 から構成される。受信制御部 42 は、リモート部 12 からの情報を受信して処理実行部 22 に供給する。送信制御部 43 は、処理実行部 22 の処理結果をネットワーク 13 を介してリモート部 12 に送信する。

【0048】次に、リモート部 12 について説明する。リモート部 12 は、図 5 に示すように選択・設定装置 51 及び送受信装置 52-1 ~ 52-m から構成される。選択・設定装置 51 は、送信選択部 53、送信先設定部 54、処理選択部 55、スケジュール設定部 56、プリンタ選択部 57、処理実行部 58 から構成される。

【0049】送信選択部 53 は、ローカル部 11 の処理実行部 22 の処理により取得された処理結果を送信する送信方式を選択する。送信選択部 53 で選択された送信方式の情報がネットワーク 13 を介してローカル部 11 に送信され、処理制御部 28 の送信指定部 28b に設定される。送信先設定部 54 は、ローカル部 11 の処理実行部 22 の処理により取得された処理結果を送信する送信先を設定する。送信先設定部 54 で設定された送信先は、ネットワーク 13 を介してローカル部 11 に送信され、処理制御部 28 の送信先設定部 28c に設定される。

【0050】処理選択部 55 は、ローカル部 11 の処理部 26 に設定されたプリンタ内部情報取得処理部 31、プリンタ診断テスト処理部 32、プリンタ設定処理部 33、プリンタファームウェア適用処理部 34、プリンタログ情報取得処理部 35、フィルタリング適用処理部 36、プリンタ統計分析処理部 37 から所望の処理を選択する。処理選択部 55 で選択された処理はローカル部 11 の処理指定部 28a に設定される。

【0051】スケジュール設定部 56 は、処理部 26 で実行する処理のスケジュールを設定する。スケジュール設定部 56 で設定されたスケジュールは、ネットワーク 13 を介してローカル部 11 に送信され、処理実行部 22 のジョブスケジュール制御部 25 に設定される。プリンタ選択部 57 は、処理実行部 22 で処理を行おうとするプリンタを選択する。プリンタ選択部 57 で選択されたプリンタは、ローカル部 11 の処理部 26 に送信されて、処理すべきプリンタを指示する。

【0052】処理実行部 58 は、上記送信選択部 53、送信先設定部 54、処理選択部 55、スケジュール設定部 56、プリンタ選択部 57 での設定に応じて処理実行部 22 に処理の実行を依頼する。なお、選択・設定装置 51 の形態は、例えば、ディスプレイ端末、メールクライアント、電話、FAX などが考えられる。

【0053】次に送受信装置 52-1 ~ 52-m について説明する。送受信装置 52-1 ~ 52-m は、遠隔地に配置され、プリンタ 3-1 ~ 3-n の状態を監視する。図 17 は本発明の一実施例のリモート部の送受信装置のブロック構成図を示す。

【0054】送受信装置 52-1 ~ 52-m は、それぞれ送信制御部 59、受信制御部 60、処理指定部 61、送信指定部 62、送信内容通知部 63 から構成される。送信制御部 59 は、ネットワーク 13 を介してローカル部 11 への送信制御を行う。受信制御部 60 は、ネットワーク 13 を介してローカル部 11 からのデータの受信制御を行う。

【0055】処理指定部 61 は、処理実行部 22 で実行する処理を指定する。処理指定部 61 での指定は、送信制御部 59 及びネットワーク 13 を介してローカル部 11 に通知する。送信指定部 62 は、処理指定部 61 で指

定した処理結果の送信先及び送信方式を指定する。送信指定部 62 で指定された送信先及び送信方式は、送信制御部 59 及びネットワーク 13 を介してローカル部 11 に通知される。

【0056】送信内容通知部 63 は、受信制御部 60 でローカル部 11 から受信したプリンタ内部情報をオペレータに通知する。次にプリンタ 3-1 ~ 3-n について説明する。図 18 は本発明の一実施例のプリンタのブロック構成図を示す。プリンタ 3-1 ~ 3-n は、ネットワーク通信制御部 71、印刷系処理部 72、メカ制御部 73、プリンタメカエンジン部 74、運用管理系処理部 75 から構成される。

【0057】ネットワーク通信制御部 71 は、ネットワーク 2 と接続され、ローカル部 11 との通信を行う。印刷系処理部 72 は、ネットワーク 2 を介して供給された印刷データを処理してメカ制御部 73 に供給する。メカ制御部 73 は、印刷系処理部 72 で処理された印刷データからメカ制御信号を生成し、プリンタメカエンジン部 74 に供給する。また、メカ制御部 73 は、センサ値検出手段 76 及び内部情報レジスタ 77 を有する。センサ値検出手段 76 は、プリンタメカエンジン部 74 から供給される各センサ値を検出し、センサ値に応じた内部情報を取得する。センサ値検出手段 76 で検出された内部情報は、内部情報レジスタ 77 に格納される。

【0058】プリンタメカエンジン部 74 は、メカ制御部 73 から供給されたメカ制御信号に応じて駆動され、印刷用紙の引き込み、送り、印刷データに応じた印刷動作などを行う。プリンタメカエンジン部 74 は、各部に各種センサ 78 を有する。各種センサ 78 は、紙づまりなどを検出するセンサやトナー量を検出するセンサなど印刷に必要な各種動作を検出するセンサから構成される。

【0059】運用管理系処理部 75 は、トラップ制御処理部 79、内部情報収集部 80、内部情報テーブル 81、ポーリング制御処理部 82、診断テスト処理部 83、プリンタ設定処理部 84、プリンタ設定テーブル 85、ファームウェア適用処理部 86、ファームウェア格納部 87、実動作ファームウェア部 88 から構成される。トラップ制御処理部 79 は、内部情報収集部 80 によりメカ制御部 73 の内部情報レジスタ 77 から収集した内部情報を直ぐにネットワーク通信制御部 71、ネットワーク 2 を介してローカル部 11 に送信する。内部情報収集部 80 は、メカ制御部 73 の内部レジスタ 77 に格納された内部情報を収集し、内部情報テーブル 81 に格納する。

【0060】内部情報テーブル 81 は、メカ制御部 73 で収集した内部情報を格納する。図 19 は本発明の一実施例のプリンタの内部情報テーブルのデータ構成図を示す。内部情報テーブル 81 は、内部情報として用紙搬送時間、リトライ回数、トナー制御センサ出力値、トナー

補給カウンタ値、現像剤寿命カウンタ値、ドラム寿命カウンタ値、各種エラー情報を格納する。

【0061】ポーリング制御処理部 82 は、ネットワーク 2、ネットワーク通信制御部 71 を介して供給された問い合わせコマンドに応じて内部情報テーブル 81 の内容をネットワーク通信制御部 71、ネットワーク 2 を介してローカル部 11 に送信する。診断テスト処理部 83 は、ローカル部 11 からネットワーク 2、ネットワーク通信制御部 71 を介して供給された診断テストコマンドに基づきテストを行い、その結果を応答する。なお、診断テストには、メカ系テスト、制御系テスト、印刷系テストなどがある。メカ系テストは、プリンタメカエンジン部 74 の各部を駆動し、正常に動作するか否かを各種センサ 78 の検出結果からチェックする。各種センサ 78 のチェック結果を診断テストコマンドを供給したローカル部 11 に応答する。

【0062】制御系テストは、印刷系処理部 72、メカ制御部 73 などのコントロール部にテスト信号を供給し、その応答に応じて診断を行う。例えば、RAM のリード/ライトチェックや、入出力ポートのチェックがある。そのチェック結果を診断テストコマンドを供給したローカル部 11 に応答する。印刷系テストは、種々のテストパターンを印刷し、各種センサ 78 により印刷動作中のプリンタ内部情報を応答する。

【0063】プリンタ設定処理部 84 は、ローカル部 11 からネットワーク 2、ネットワーク通信制御部 71 を介して供給されたプリンタ設定コマンドに従って、プリンタ設定テーブル 85 を更新する。プリンタ設定テーブル 85 には、プリンタ設定情報が格納される。プリンタ設定テーブル 85 は、プリンタ設定情報を格納する。図 20 は本発明の一実施例のプリンタのプリンタ設定テーブルのデータ構成図を示す。

【0064】プリンタ設定テーブル 85 には、図 20 に示すようにプリンタ設定情報として、エミュレーションの種類や各種動作モードの設定情報が格納される。プリンタ設定テーブル 85 に格納されたプリンタ設定情報に応じて印刷処理系 72 の処理が設定される。ファームウェア適用処理部 86 は、ローカル部 11 からネットワーク 2、ネットワーク通信制御部 71 を介して供給されたファームウェアをファームウェア格納部 87 に格納する。ファームウェア格納部 87 は、現ファームウェア格納部 89 及び新ファームウェア格納部 90 から構成される。現ファームウェア格納部 89 には、現在適用されているファームウェアが格納される。新ファームウェア格納部 90 には、ローカル部 11 から新規にファームウェアが供給されたときに、新規に供給されたファームウェアが格納される。

【0065】ここで、ファームウェア適用処理部 86 の処理について説明する。ファームウェア適用処理部 86 は、ローカル部 11 からネットワーク 2、ネットワーク

通信制御部 71 を介して新規のファームウェアが供給されると、まず、ファームウェア格納部 87 の新ファームウェア格納部 90 に格納する。新ファームウェア格納部 90 に格納された新ファームウェアに付加された版数／適用情報により新ファームウェアがプリンタに適用可能かどうかを判定する。判定結果、新ファームウェアがプリンタに適用可能であると判定された場合には、新ファームウェア格納部 90 に格納された新ファームウェアを現ファームウェア格納部 89 に格納する。また、判定結果、新ファームウェアがプリンタに適用できないと判定された場合には、現ファームウェア格納部 89 に格納された現ファームウェアをそのまま適用する。

【0066】実動作ファームウェア格納部 88 は、RAM などからなり、電源投入時あるいは適用時には現ファームウェア格納部 89 に格納され、現在適用されているファームウェアがロードされる。印刷動作は、実動作ファームウェア格納部 88 に格納されたファームウェアにより制御される。次に、リモート部 12 の選択・設定装置 51 の処理について説明する。

【0067】図 21、図 22 は本発明の一実施例の選択・設定装置の処理フローチャートを示す。選択・設定装置 51 は動作が開始すると、初期設定を行う（ステップ S3-0）。選択・設定装置 51 は、プリンタリスト取り寄せタイミングになると、ローカル部 11 からシステム配下のプリンタ 3-1～3-n のプリンタリストを取り寄せ、表示する（ステップ S3-1、S3-2）。

【0068】ステップ S3-2 で、プリンタリストが表示されると、次に、プリンタ選択部 57 により表示されたプリンタリストからプリンタを選択可能とされる（ステップ S3-3、S3-4）。ステップ S3-3、S3-4 で、適用されるプリンタの設定が行われると、処理選択部 55 により処理の選択が可能とされる（ステップ S3-5、S3-6）。

【0069】ステップ S3-5、S3-6 で処理が設定されると、次に、スケジュール設定部 56 により処理の実行スケジュールを設定可能とする（ステップ S3-7、S3-8）。なお、ステップ S3-7、S3-8 では、実行スケジュールに代えて処理の時間間隔を設定するようにしてもよい。ステップ S3-7、S3-8 で、スケジュール設定部 56 により処理の実行スケジュールあるは時間間隔が設定されると、次に、送信選択部 53 により送信方式が選択可能とされる（ステップ S3-9、S3-10）。

【0070】ステップ S3-9、S3-10 で、送信選択部 53 により送信方式が設定されると、次に、送信先設定部 54 により送信先が設定可能となる（ステップ S3-11、S3-12）。ステップ S3-11、S3-12 で、送信先設定部 54 により送信先が設定されると、次に処理実行部 58 により動作開始を指示可能となる（ステップ S3-13、ステップ S3-14）。ステ

ップ S3-14 で、処理実行部 58 により開始が指示されると、上記ステップ S3-1～S3-12 で設定された選択・設定情報がローカル部 11 に供給され、選択・設定装置 51 による選択・設定処理は終了し、ローカル部 11 による処理が行われる。

【0071】また、ステップ S3-13 で処理が起動されなければ、ステップ S3-1 に戻って、再び選択・設定が可能となる。ここで、選択・設定装置 51 で上記の処理により選択・設定を行う際の表示画面について説明する。図 23 は本発明の一実施例の選択・設定装置の選択・設定画面を示す図を示す。

【0072】選択・設定装置 51 に表示される選択・設定画面は、プリンタ選択表示部 51a、処理選択表示部 51b、処理手順指定部 51c、送信選択表示部 51d、処理実行表示部 51e から構成される。プリンタ選択表示部 51a には、接続されたプリンタのプリンタリストが表示される。プリンタ選択表示部 51a に表示されたプリンタリストから所定のプリンタを選択・設定することによりプリンタ選択部 57 によるプリンタ選択が行われる。

【0073】処理選択表示部 51b は、処理項目名が登録、表示可能とされている。ユーザは表示された処理項目名から処理項目を選択できる。処理手順指定表示部 51c では、処理手順の選択が可能である。送信選択表示部 51d には、メール、FAX、電話などの送信方法が表示され、そのアドレスや番号を入力可能とされている。

【0074】処理実行表示部 51e には、即時処理か、予約実行かの選択が可能とされている。また、予約実行には、実行時刻の指定が可能とされている。次に、ローカル部 11 の処理実行部 22 の処理について説明する。図 24、図 25 は本発明の一実施例の処理実行部の処理フローチャートを示す。

【0075】選択・設定装置 51 により処理実行が設定され、処理実行部 22 に各種選択結果、設定値が供給されると、処理実行部 22 はプリンタ通信制御部 21 を介してプリンタ 3-1～3-n の存在を確認するとともに、プリンタ 3-1～3-n の状態／プリンタ内部情報の収集を行うスケジュール又は時間周期をカレンダー／タイマ部 24 に設定する（ステップ S4-1）。

【0076】次にカレンダー／タイマ部 24 がプリンタ 3-1～3-n の状態／プリンタ内部情報の収集を行う時間に達したか否かを判定する（ステップ S4-2）。ステップ S4-2 で、カレンダー／タイマ部 24 がプリンタ 3-1～3-n の状態／プリンタ内部情報の収集を行う時間になると、プリンタ通信制御部 21 を介してプリンタ 3-1～3-n の存在確認を行うとともに、各プリンタの内部情報を収集し、プリンタ内部情報格納部 27 に格納する（ステップ S4-3）。

【0077】次に、選択・設定装置 51 から処理の実行

／予約通知を受信したか否かを判定する（ステップS 4－4）。ステップS 4－4で、選択・設定装置5 1から処理の実行／予約通知を受信すると、処理実行部2 2は処理の実行または予約を行う（ステップS 4－5）。このとき、即時実行の場合、処理スケジュールを作成し、即時処理を実行する。処理実行により取得した処理結果を選択・設定装置5 1で選択した送受信装置5 2－1～5 2－mに送信する。また、処理予約の場合には、単に処理スケジュールを作成する。

【0078】次に、送受信装置5 2－1～5 2－mからの処理の実行／予約通知を受信したか否かを判定する（ステップS 4－6）。ステップS 4－6で、送受信装置5 2－1～5 2－mから処理の実行／予約通知を受信すると、処理実行部2 2は処理の実行または予約を行う（ステップS 4－7）。このとき、即時実行の場合、処理スケジュールを作成し、即時処理を実行する。処理実行により取得した処理結果を送受信装置5 2－1～5 2－mで選択した送受信装置5 2－1～5 2－mに送信する。また、処理予約の場合には、単に処理スケジュールを作成する。

【0079】次に、ジョブスケジュール制御部2 5を参照して、タイムテーブルの中に予約された時刻に到達しているものがあるか否かを判定する（ステップS 4－8）。ステップS 4－8で、ジョブスケジュール制御部2 5の中に予約された時刻に到達した処理があれば、ジョブスケジュール制御部2 5の対応する処理のフラグを「実行中」にセットする（ステップS 4－9）。

【0080】次に、対応する処理の内容を解析して指定されたプリンタに指定された処理を実行し、その実行結果を指定された送信方法により指定された送信先に送信する（ステップS 4－10）。ジョブスケジュール制御部2 5で予約時刻到達した処理がすべて終了すると、処理を終了し、ジョブスケジュール制御部2 5の対応する処理のフラグを「実行済」にセットする（ステップS 4－11）。

【0081】次に、フィルタリング適用処理部3 6によりフィルタリング適用処理が行われ、フィルタリング条件が成立した情報を指定された送信方法により指定された送信先に送信する（ステップS 4－12、S 4－13）。ここで、ステップS 4－5の処理の実行及び予約処理について詳細に説明する。

【0082】図2 6は本発明の一実施例の処理実行部の処理実行時及び予約時の処理フローチャートを示す。選択・設定装置5 1で選択・設定された処理実行／予約情報を受信すると、選択・設定装置5 1から供給された処理実行／予約情報の選択プリンタ、設定送信方法、送信先情報から後述するような処理テーブルを作成する（ステップS 5－2）。

【0083】ステップS 5－2で、処理テーブルが作成されると、次に、選択・設定装置5 1で選択・設定され

た処理実行／予約情報の処理選択情報から処理スケジュールスタックを作成する（ステップS 5－3）。次に、選択・設定装置5 1で設定された処理実行／予約情報の時間設定情報から処理の時刻指定があるか否かを判定し（ステップS 5－4）、時刻指定がなければ、ステップS 5－2、S 5－3で作成された処理テーブル及び処理スケジュールスタックの内容を解析して指定された処理を実行する（ステップS 5－5）。

【0084】また、ステップS 5－4で、時刻指定があれば、後述するタイムテーブルを作成する。ここで、タイムテーブル及び処理テーブルについて説明する。図2 7は本発明の一実施例のタイムテーブル及び処理テーブルのデータ構成図を示す。図2 7（A）はタイムテーブル、図2 7（B）は処理テーブルを示す。

【0085】タイムテーブルは、図2 7（A）に示すように起動時刻、実行状態フラグ、処理ポインタから構成される。起動時刻は、処理の起動時刻を示す。実行状態フラグは、処理の実行状態「実行待ち」、「実行中」、「実行済み」を識別するためのフラグである。処理ポインタは、実行する処理の処理テーブルの初期値を示す。処理実行部2 2では、カレンダー／タイマ部2 4の時刻とタイムテーブルの起動時刻とを比較することにより処理が実行される。処理は、処理ポインタに設定された位置から処理テーブルを参照し、処理テーブルのスケジュールスタックポインタの初期値から決定される。また、処理が実行されると、フラグが「実行待ち」から「実行中」となる。さらに、フラグは、実行が終了すると「実行済み」となる。

【0086】処理テーブルは、図2 7（B）に示すように実行する処理のスケジュールスタックポインタの初期値、処理対象プリンタの台数、処理対象プリンタのIPアドレス、送信方式の個数、送信方式、送信先の個数、送信先アドレスから構成される。処理テーブルは、タイムテーブルの処理ポインタから処理テーブルの対応する処理が参照される。対応する処理のはじめには処理のスケジュールスタックポインタの初期値が設定されており、処理スケジュールスタックポインタの初期値から処理を実行する。また、処理の対象は、処理テーブルに設定された処理対象プリンタとなる。さらに、処理結果は、処理テーブルに設定された送信方式により処理テーブルに設定された送信先へ送信される。

【0087】次に処理の制御コード、処理コードが格納された処理スケジュールスタックについて説明する。図2 8は本発明の一実施例の処理スケジュールスタックのデータ構成図を示す。処理スケジュールスタックには、「制御コード」、「処理コード」が処理順に格納される。処理スケジュールスタックにはスタックポインタが設定され、一処理が終了する毎にポインタが順次に移動する。処理スケジュールスタックの最後は「空」になっていて、スタックポインタ位置が「空」になったところ

で、処理は終了することになる。

【0088】図29は本発明の一実施例の処理スケジュールスタックに設定される制御コード及び処理コードを説明するための図を示す。制御コードとしては図29に示すような種類があり、図29に示すような制御コード及び処理コードを組み合わせることで処理スケジュールスタックによる処理が決定される。処理コードは制御コードの内容を示すコード、パラメータで構成される。

【0089】図30、図31は本発明の一実施例の処理スケジュールスタックの例を説明するための図を示す。図30、図31は「処理Aの結果がGoodであれば、処理B、処理Cを実行し、処理Aの結果がNGであれば、処理Dを実行する。」処理を実行するための処理スケジュールスタックである。上記のような処理を実行するためには、図30、図31に示すように制御コード「Do」、処理コード「処理A」→制御コード「Result」→制御コード「Result Good then Do」、処理コード「処理B」→制御コード「Result Good then Do」、処理コード「処理C」→制御コード「Result NG then Do」、処理コード「処理D」→制御コード「End」→「空」を設定する。

【0090】まず、初期状態でスタックポインタが制御コード「Do」、処理コード「処理A」を指す。制御コード「Do」、処理コード「処理A」により処理Aが実行される。次にスタックポインタが制御コード「Result」を指す。制御コード「Result」により処理Aの実行終了待ちとなる。処理Aの実行が終了すると、処理Aの処理結果が反映される。処理Aの結果、処理Aの処理結果がGoodとなると、制御コード「Result」に処理コード「Good」が付与される。

【0091】制御コード「Result」に対応する処理コードとして処理Aの処理結果が「Good」になることによりスタックポインタが制御コード「Result Good then Do」、処理コード「処理B」を指す。制御コード「Result Good then Do」、処理コード「処理B」により処理Aの結果が「Good」であるので、処理Bが実行される。

【0092】処理Bが実行された後、スタックポインタが制御コード「Result Good then Do」、処理コード「処理C」を指す。スタックポインタが制御コード「Result Good then Do」、処理コード「処理C」により処理Aが「Good」であるので、処理Cが実行される。処理Cが実行されると、スタックポインタが制御コード「End」を指し、処理の終了を認識し、次にスタックポインタが「空」を指すことによりスタック処理が終了する。

【0093】なお、制御コード「Result」で処理Aの処理結果が「NG」場合は、スタックポインタが制

御コード「Result NG then Do」、処理コード「処理D」を指す。制御コード「Result NG then Do」、処理コード「処理D」により、処理Dを実行され、同様に処理が終了する。次に、ステップS5-5の処理、すなわち、上記処理スケジュールスタックを用いた処理について説明する。

【0094】図32は本発明の一実施例の処理実行時の処理フローチャートを示す。ステップS5-5では、まず実行する処理の処理テーブルと処理スケジュールスタックを選択し、スタックポインタをセットする（ステップS6-1）。このとき、処理結果を格納するレジスタおよび処理を選択するレジスタに「0」すなわち、「無視」をセットする。

【0095】次に、処理スケジュールスタックは「空」か、否かを判定する（ステップS6-2）。ステップS6-2で、処理スケジュールスタックが「空」であれば、処理は終了する。また、ステップS6-2で処理スケジュールスタックに制御コードがあれば、処理スケジュールスタックより制御コード及び処理コードを取り出し、処理スケジュールスタックのポインタを「+1」する（ステップS6-3）。

【0096】次に取り出した制御コードに従って制御を行う（ステップS6-4、S6-5）。また、このとき、取り出した処理コードに従って処理を実行する（ステップS6-6、S6-7）。また、取り出した制御コードを参照して、制御コードが「Result」か、否かを判定する（ステップS6-8）。制御コードが「Result」でなければ、ステップS6-2に戻って処理を実行する。また、ステップS6-8で、制御コードが「Result」のときには、処理コードとして設定された処理の結果をスタックポインタが指す場所にセットする（ステップS6-9）。

【0097】次に、各制御コード、各処理コードの処理について説明する。まず、制御コードについて説明する。図33乃至図35は本発明の一実施例の各制御コードの処理フローチャートを示す。図33(A)は制御コード「DO（処理コード）」、図33(B)は制御コード「Result Good」、図33(C)は制御コード「Result NG」、図33(D)は制御コード「Result True」、図33(E)は制御コード「Result False」、図34(A)は制御コード「Result Good then do（処理コード）」、図34(B)は制御コード「Result NG then Do（処理コード）」、図34(C)は制御コード「Result True then Do（処理コード）」、図35(A)は制御コード「Result False then Do（処理コード）」、図35(B)は制御コード「End」の処理フローチャートを示す。

【0098】制御コード「DO（処理コード）」は、

図33(A)に示すように(処理コード)を処理選択レジスタにセットする処理(ステップS7-1)を行う。制御コード「Result Good」は、図33

(B)に示すように処理結果レジスタに「Result Good」をセットした後(ステップS7-2)、処理選択レジスタに「0:無視」をセットする(ステップS7-3)処理を行う。

【0099】制御コード「Result NG」は、図33(C)に示すように処理結果レジスタに「Result NG」をセットし(ステップS7-4)、処理選択レジスタに「0:無視」をセットする(ステップS7-5)処理を行う。制御コード「Result True」は、図33(D)に示すように処理結果レジスタに「Result True」をセットし(ステップS7-6)、処理選択レジスタに「0:無視」をセットする(ステップS7-7)処理を行う。

【0100】制御コード「Result false」は、図33(E)に示すように処理結果レジスタに「Result false」をセットし(ステップS7-8)、処理選択レジスタに「0:無視」をセットする(ステップS7-9)処理を行う。制御コード「Result Good then Do (処理コード)」は、図34(A)に示すように、処理結果レジスタの内容が「Result Good」か否かを判定して(ステップS7-10)、処理結果レジスタの内容が「Result Good」でなければ、処理選択レジスタに「0:無視」をセットし(ステップS7-11)、処理結果レジスタの内容が「Result Good」のときには(処理コード)を処理選択レジスタにセットする(ステップS7-12)処理を行う。

【0101】制御コード「Result NG then Do (処理コード)」は、図34(B)に示すように、処理結果レジスタの内容が「Result NG」か否かを判定して(ステップS7-13)、処理結果レジスタの内容が「Result NG」でないときには、処理選択レジスタに「0:無視」をセットし(ステップS7-14)、処理結果レジスタの内容が「Result NG」のときには(処理コード)を処理選択レジスタにセットする(ステップS7-15)処理を行う。

【0102】制御コード「Result True then Do (処理コード)」は、図34(C)に示すように、処理結果レジスタの内容が「Result True」か否かを判定して(ステップS7-16)、処理結果レジスタの内容が「Result True」でないときには、処理選択レジスタに「0:無視」をセットし(ステップS7-17)、処理結果レジスタの内容が「Result True」のときには(処理コード)を処理選択レジスタにセットする(ステップS7-18)処理を行う。

【0103】制御コード「Result false then Do (処理コード)」は、図35(A)に示すように、処理結果レジスタの内容が「Result false」か否かを判定して(ステップS7-19)、処理結果レジスタの内容が「Result false」でないときには、処理選択レジスタに「0:無視」をセットし(ステップS7-20)、処理結果レジスタの内容が「Result false」のときには(処理コード)を処理選択レジスタにセットする(ステップS7-21)処理を行う。

【0104】制御コード「End」は、図35(B)に示すように、処理結果レジスタをクリアし(ステップS7-22)、処理レジスタに「0:無視」をセットする(ステップS7-23)処理を行う。次に各処理コードの処理について詳細に説明する。図36乃至図38は本発明の一実施例の各処理コードの処理フローチャートを示す。図36(A)は処理概要コード「0」、図36(B)は処理概要コード「1」、図36(C)は処理概要コード「2」、図36(D)は処理概要コード「3」、図37(A)は処理概要コード「4」、図37(B)は処理概要コード「5」、図38(A)は処理概要コード「6」、図38(B)は処理概要コード「7」の処理を示す。

【0105】処理概要コード「0」は、図36(A)に示すように何の処理も行わない(ステップS8-1)。処理概要コード「1」は、図36(B)に示すように処理テーブルで指示されるプリンタに対して処理詳細コードで指示される取得項目の情報をプリンタより取得し、その結果を処理テーブルで指定される送信方法により処理テーブルで指定される送信先に送信するとともに、取得情報をプリンタ内部情報格納部27に格納する処理を行う(ステップS8-2)。

【0106】処理概要コード「2」は、図36(C)に示すように処理テーブルで指示されるプリンタに対して処理詳細コードで指示される診断テスト項目をプリンタに対し、実施し、その結果を処理テーブルで指定される送信方法により指定される送信先に送信する処理を行う(ステップS8-3)。処理概要コード「3」は、図36(D)に示すように処理テーブルで指示されるプリンタに対して処理詳細コードで指示されるプリンタ設定項目をプリンタに設定適用し、その設定内容(項目/値)を処理テーブルで指定される送信方法により処理テーブルで指定される送信先に送信する処理を行う(ステップS8-4)。

【0107】処理概要コード「4」は、図37(A)に示すように、処理テーブルで指示されるプリンタに対して処理詳細コードで指示される種類及び版数のファームウェアをファームウェア格納部から読み出して、プリンタに適用し、処理テーブルで指定される送信方法で処理テーブルで指定される送信先に送信する処理を行う(ス

ステップS 8-5)

【0108】処理概要コード「5」は、図37(B)に示すように、処理テーブルで指示されるプリンタに対して処理詳細コードで指示されるログ項目情報をプリンタ内部情報格納部27から呼び出して、その内容を処理テーブルで指定される送信方法により処理テーブルで指定された送信先に送信する(ステップS 8-6)。処理概要コード「6」は、図38(A)に示すように、処理テーブルで指示されるプリンタに対して処理詳細コードで指示されるフィルタリング条件を適用し、適用したフィルタリング内容を処理テーブルで指定される送信方法により処理テーブルで指定された送信先に送信する処理を行う(ステップS 8-7)。

【0109】処理概要コード「7」は、図38(B)に示すように処理テーブルで指定されるプリンタに対して処理詳細コードで指示される統計分析項目、期間に従って、プリンタ内部情報格納部27に保存された情報に基づいて統計分析し、その結果を処理テーブルで指定される送信方法により処理テーブルで指定された送信先に送信する処理を行う(ステップS 8-8)。

【0110】ここで、処理概要コード「6」の詳細について説明する。図39は本発明の一実施例のフィルタリング処理の動作説明図を示す。図39(A)はフィルタリングテーブル、図39(B)はフィルタリング処理テーブルを示す。本実施例のフィルタリングテーブルには、プリンタ毎に、フィルタ条件及び適用/未適用を示すフラグ、処理テーブル上で適用すべき情報のポインタ位置が設定されている。処理テーブルには、適用すべき情報毎に条件成立時のメッセージ、送信方法の個数、送信方法、送信先の個数、送信先の情報が格納されている。

【0111】フィルタリングが適用されると、適用/未適用フラグが「適用」とされ、フィルタリングテーブルに設定されたフィルタリング条件でフィルタリングが実行され、フィルタリングが実行される。また、フィルタリング条件が成立すると、フィルタリングテーブルのポインタ位置から処理テーブルを検索し、対応する条件成立メッセージを取得する。また、処理テーブルに指定された送信方法により処理テーブルに指定された送信先に条件成立メッセージを送信する。

【0112】次に、プリンタの動作を詳細に説明する。図40、図41は本発明の一実施例のプリンタの処理フローチャートを示す。プリンタ3-1~3-nは、ネットワーク2に接続され、電源が投入されると、まず、初期診断が行われる(ステップS 9-1)。初期診断ではプリンタ各部が自己診断され、異常が検出された場合には、オペレータパネルにメッセージが表示される。

【0113】ステップS 9-1で初期診断が行われると、ファームウェアのロードが行われる(ステップS 9-2)。ファームウェアのロードは、プリンタに内蔵さ

れた現ファームウェア格納部89に格納されたファームウェアを実動作ファームウェア格納部88に格納することにより行われる。次に、ネットワーク2から印刷データを受信すると(ステップS 9-3)、印刷系処理部72により印刷処理が行われる(ステップS 9-4)。ステップS 9-4の印刷処理では、印刷系処理部72は印刷データ・コマンドの解釈・展開を行う。印刷系処理部72は、印刷データ・コマンドの解釈・展開結果をメカ制御部73に供給する。メカ制御部73は、印刷系処理部72から供給された印刷データ・コマンドの解釈・展開結果に応じてプリンタメカエンジン部74を制御して、印刷を行う。このとき、プリンタ設定テーブルの設定内容に応じて動作が制御される。また、印刷中に異常が検出されると、図示しないオペレータパネルに異常状態を表示する。

【0114】また、プリンタ内部でイベントが発生すると(ステップS 9-5)、トラップ制御部79によりローカル部11への通知処理が行われる(ステップS 9-6)。トラップ制御部79では、発生したイベント内容を内部情報テーブル81に格納するとともに、発生したイベント内容をネットワーク通信制御部71、ネットワーク2を介してローカル部11に通知する。

【0115】さらに、ローカル部11からプリンタの内部情報問い合わせがあると(ステップS 9-8)、ポーリング制御処理部82により内部情報テーブル81に格納された内部情報がネットワーク2を介してローカル部11に供給する(ステップS 9-8)。また、ローカル部11から診断テストコマンドを受信すると(ステップS 9-9)、診断テスト処理部83が起動される(ステップS 9-10)。

【0116】診断テスト処理部83は、受信した診断テストコマンドにしたがって、メカ系テスト、制御系テスト、印刷系テストを行う。メカ系テストは、メカエンジン各部を駆動して、正常か否かをチェックする。制御系テストは、プリンタ内各制御部のRAMのリード/ライトチェックや入出力ポートチェックなどを行う。

【0117】印刷系テストは、テストパターンを印刷し、動作中の各センサ出力などをチェックする。診断テスト処理部83での各テスト結果は、ネットワーク通信制御部71、ネットワーク2を介してローカル部11に送信される。さらに、ローカル部11からプリンタ設定コマンドを受信すると(ステップS 9-11)、プリンタ設定処理部84が起動する(ステップS 9-12)。

【0118】プリンタ設定処理部84は、ローカル部11からのプリンタ設定コマンドに従って設定内容をプリンタ設定テーブル85に格納する。プリンタはプリンタ設定テーブル85に設定された設定情報に従って制御される。また、ローカル部11からネットワーク2を介してファームウェアを受信すると(ステップS 9-13)、ファームウェア適用処理部86が起動される(ス

ステップS 9-14)

【0119】ファームウェア適用処理部86では、まず、受信したファームウェアを新ファームウェア格納部90に格納する。次に、受信したファームウェアに付帯する版数・適用情報を参照して、受信したファームウェアが本プリンタに適用可能か否かをチェックする。また、チェック結果、受信したファームウェアが本プリンタに適用不可ならば、ネットワーク通信制御部71を介してローカル部11にその旨の応答を行う。

【0120】さらに、チェック結果、受信したファームウェアが本プリンタに適用可ならば、新ファームウェア格納部90を現ファームウェア格納部とし、現ファームウェア格納部89を新ファームウェア格納部とする。なお、本実施例では、電子メールにより処理要求を行うこともできる。図42は本発明の一実施例の電子メールによる処理要求を説明するための図を示す。図42(A)

はコマンド及びサブコマンドの意味を示す図、図42

(B)はコマンド記述例を示す。

【0121】図42(B)に示すように「<Set> Response.Route.Mail.Address (****[アットマーク]**.**.co.jp)」により、図42(A)に示すコマンドの意味から「処理結果をメールアドレス****[アットマーク]**.**.co.jpに通知する」旨のコマンドにすることができる。同様に、「<Set> Target.Printer.Ip (***.***.***.**)」により図42(A)に示すコマンドの意味から「処理対象プリンタをIPアドレス***.***.***.***で指定する」旨のコマンドとなる。

【0122】同様に、「<Set> ActionTiming.Immediately」により図42(A)に示すコマンドに意味から「処理の即時実行を指定する」旨のコマンドを得ることができる。さらに、「<Test> AllItem」により図42(A)に示すコマンドの意味から「全項目テスト」のコマンドを得ることができる。また、「<Get> TestResult」により、図42(B)に示すコマンドの意味から「テスト結果を返す」旨のコマンドを得ることができる。

【0123】また、電子メールだけでなく、電話による処理要求を行うこともできる。図43は本発明の一実施例の電話による処理要求時の処理フローチャートを示す。リモート部12からローカル部11に電話かけ、回線を接続する(ステップS10-1)。

【0124】ステップS10-1の結果、ローカル部11に回線が接続されると(ステップS10-2)、ローカル部11はリモート部12に対して「こちらはプリンタ運用管理システムです。次の中から、実行したい処理の番号を押し、#を押して下さい。処理1は、1を押して#を押して下さい。処理2は2を押して#を押して下さい。・・・」などのメッセージを送出する(ステップS10-3)。

【0125】リモート部12で、オペレータがステップS10-3でローカル部11から供給されたメッセージ

を開いて所望の操作を行うと(ステップS10-4)、ローカル部11は、指定された番号に対応した更に詳細な指示の処理を起動する(ステップS10-5)。まず、ローカル部11では、「処理Nの詳細項目を指定してください。処理Nは、1を押して#を押して下さい。処理Nは、2を押して#を押して下さい。・・・一つ前の階層に戻る場合は、0を押して#を押して下さい。」等のメッセージを繰り返しリモート部12に送出する(ステップS10-6)。

10 【0126】リモート部12でメッセージに従って操作が行われると(ステップS10-7)、ローカル部11は番号に応じた処理を行う(ステップS10-8)。次に、ローカル部11は設定するか否かの確認を行うため「処理nmを選択しました。処理を実行しますか。はいならば、1を押して#を押して下さい。いいえならば、2を押して#を押して下さい。一つ前の階層に戻る場合は0を押して下さい。」等のメッセージが繰り返し、リモート部12に送出する(ステップS10-9)。

20 【0127】リモート部12でメッセージに従って操作が行われると(ステップS10-10)、ローカル部11は番号に応じた処理を行う(ステップS10-11)。すなわち、1が操作された場合には、選択した処理を実行し、2が操作された場合、ステップS10-3に戻る。また、0が操作された場合、ステップS10-16に戻る。

【0128】次に、ローカル部11は処理を行うが、このとき、処理に時間がかかる場合には、「実行中です。しばらくお待ち下さい。」等のメッセージをリモート部12に繰り返し送出する(ステップS10-12)。このとき、リモート部12では処理結果待ちとなる(ステップS10-13)。ローカル部11で処理が終了すると、「処理nmの結果は、・・・です。」等の結果をリモート部12に送出する(ステップS10-14)。

30 【0129】リモート部12は、処理結果メッセージを受け取る(ステップS10-15)。以上のように、電話により処理を指示でき、その結果を音声により聞くことができる。なお、上記実施例では、周辺装置がプリンタである場合について説明したが、これに限られるものではなく、他の装置にも適用できることは言うまでもない。

40 【0130】さらに、処理についても上記処理に限定されるものではなく、各種コマンドを設定することにより各種処理に対応できる。また、通信手段も電子メール、電話に限られるものではなく、各種通信方法により実行できる。さらに、本実施例では、ローカル部11をプリンタ3-1~3-nとリモート部12との間に接続することにより、ローカル部11の通信手段を増加させるだけで、各種通信方式に対応できる。

【0131】

50 【発明の効果】上述の如く、本発明によれば、現地に行

くことなく場所、時間を問わずプリンタ装置を監視することができるので、トラブルの兆候を掴むことができ、致命的なトラブルに発展する前に対処できる等の特長を有する。また、本発明のよれば、プリンタにトラブルが発生した場合、迅速かつ正確な情報収集ができるので、迅速なトラブル解決が望める等の特長を有する。

【0132】さらに、一保守エンジニアの出張費、時間外勤務を減らすことができるので、保守コストを安く抑えることができる等の特長を有する。

【図面の簡単な説明】

【図1】従来の周辺装置の保守管理の一例の作業フローチャートである。

【図2】従来の周辺装置の保守管理の一例の日常業務の作業フローチャートである。

【図3】本発明の一実施例のシステム構成図である。

【図4】本発明の一実施例のプリンタ装置運用管理システムの概略構成図である。

【図5】本発明の一実施例のプリンタ装置運用管理システムのブロック構成図である。

【図6】本発明の一実施例のプリンタ内部情報取得処理のブロック構成図である。

【図7】本発明の一実施例の診断テスト処理部のブロック構成図である。

【図8】本発明の一実施例のプリンタ設定処理部のブロック構成図である。

【図9】本発明の一実施例のプリンタファームウェア適用処理部のブロック構成図である。

【図10】本発明の一実施例のログ情報取得処理部のブロック構成図である。

【図11】本発明の一実施例のフィルタリング適用処理部のブロック構成図である。

【図12】本発明の一実施例のプリンタ統計分析処理部のブロック構成図である。

【図13】本発明の一実施例のトナー残量の統計分析を説明するための図である。

【図14】本発明の一実施例の搬送系異常の統計分析を説明するための図である。

【図15】本発明の一実施例の処理制御部のブロック構成図である。

【図16】本発明の一実施例の受送信部のブロック構成図である。

【図17】本発明の一実施例のリモート部の送受信装置のブロック構成図である。

【図18】本発明の一実施例のプリンタのブロック構成図である。

【図19】本発明の一実施例のプリンタの内部情報テーブルのデータ構成図である。

【図20】本発明の一実施例のプリンタのプリンタ設定テーブルのデータ構成図である。

【図21】本発明の一実施例の選択・設定装置の処理フ

ローチャートである。

【図22】本発明の一実施例の選択・設定装置の処理フローチャートである。

【図23】本発明の一実施例の選択・設定装置の設定画面を示す図である。

【図24】本発明の一実施例の処理実行部の処理フローチャートである。

【図25】本発明の一実施例の処理実行部の処理フローチャートである。

10 【図26】本発明の一実施例の処理実行部の処理実行時及び予約時の処理フローチャートである。

【図27】本発明の一実施例のタイムテーブル及び処理テーブルのデータ構成図である。

【図28】本発明の一実施例の処理スケジュールスタックのデータ構成図である。

【図29】本発明の一実施例の処理スケジュールスタックに設定される制御コード及び処理コードを説明するための図である。

20 【図30】本発明の一実施例の処理スケジュールスタックによる処理の一例を説明するための図である。

【図31】本発明の一実施例の処理スケジュールスタックによる処理の一例を説明するための図である。

【図32】本発明の一実施例の処理実行時の処理フローチャートである。

【図33】本発明の一実施例の各制御コードの処理フローチャートである。

【図34】本発明の一実施例の各制御コードの処理フローチャートである。

30 【図35】本発明の一実施例の各制御コードの処理フローチャートである。

【図36】本発明の一実施例の各処理コードの処理フローチャートである。

【図37】本発明の一実施例の各処理コードの処理フローチャートである。

【図38】本発明の一実施例の各処理コードの処理フローチャートである。

【図39】本発明の一実施例のフィルタリング処理の動作説明図である。

40 【図40】本発明の一実施例のプリンタの処理フローチャートである。

【図41】本発明の一実施例のプリンタの処理フローチャートである。

【図42】本発明の一実施例の電子メールによる処理要求を説明するための図である。

【図43】本発明の一実施例の電話による処理要求時の処理フローチャートである。

【図44】本発明の一実施例の電話による処理要求時の処理フローチャートである。

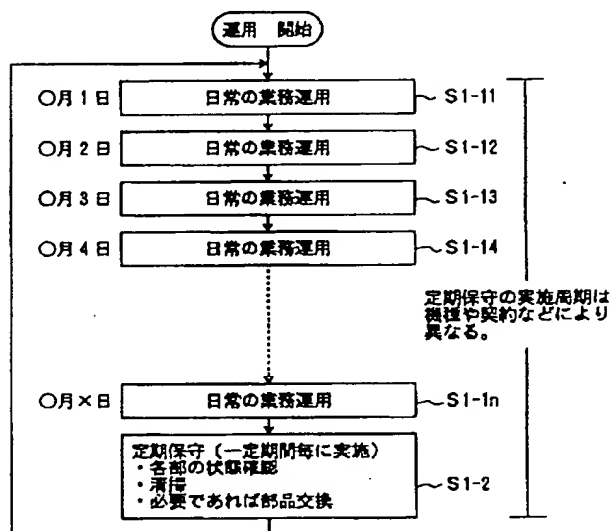
【符号の説明】

1 プリンタ装置運用管理システム

- 2 ネットワーク
 3-1～3-n プリンタ
 1-1 ローカル部
 1-2 リモート部
 1-3 ネットワーク

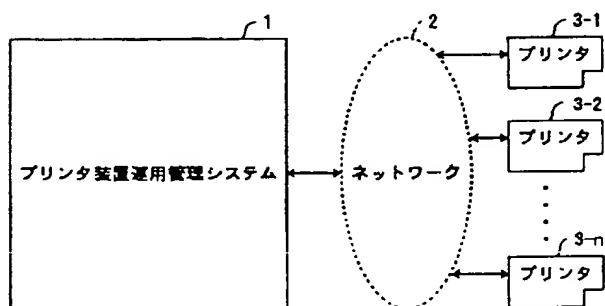
【図1】

従来の周辺装置の保守管理の一例の作業フローチャート



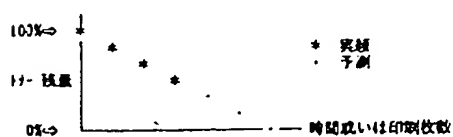
【図3】

本発明の一実施例のシステム構成図



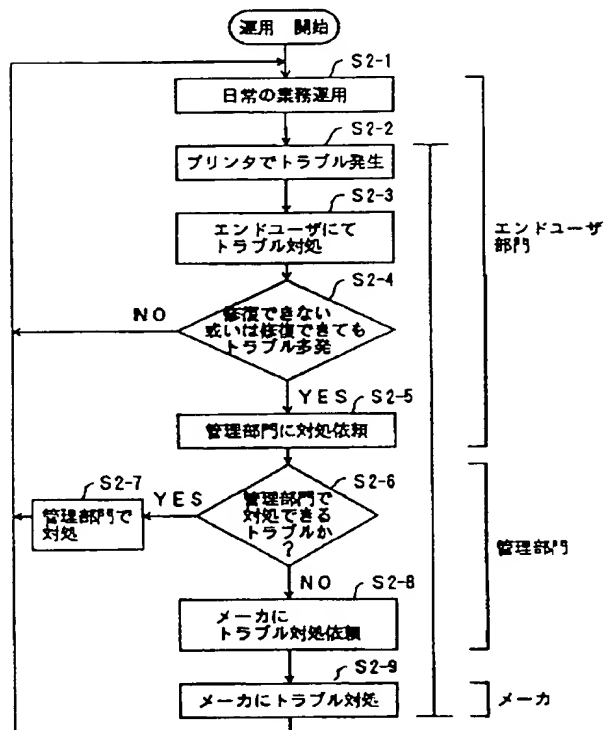
【図13】

本発明の一実施例のトナー残量の統計分析を説明するための図

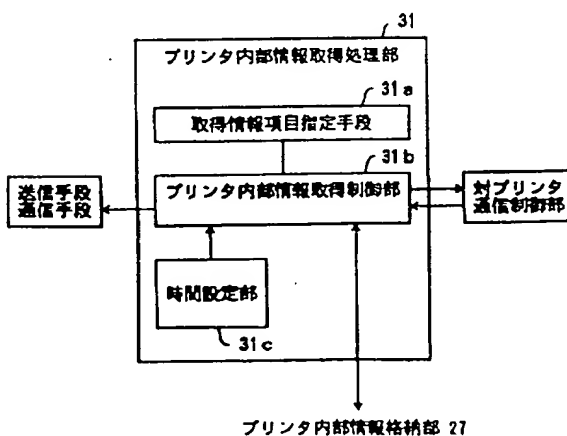


- 2-1 プリンタ通知制御部
 2-2 処理実行部
 2-3 通信部
 5-1 選択・設定装置
 5-2-1～5-2-m 送受信装置

【図2】

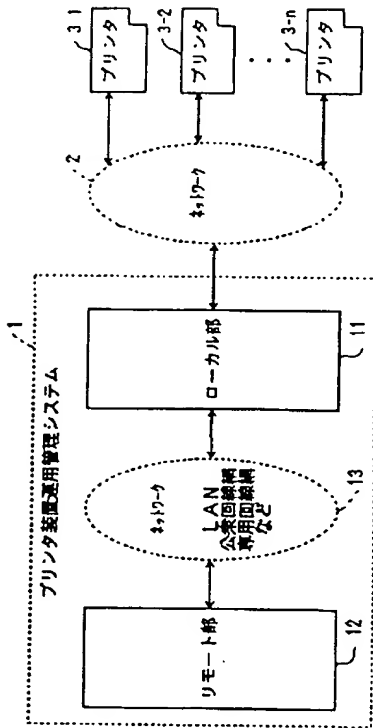
従来の周辺装置の保守管理の一例の
日常業務の作業フローチャート

【図6】

本発明の一実施例のプリンタ内部
情報取得処理部のブロック構成図

【図1】

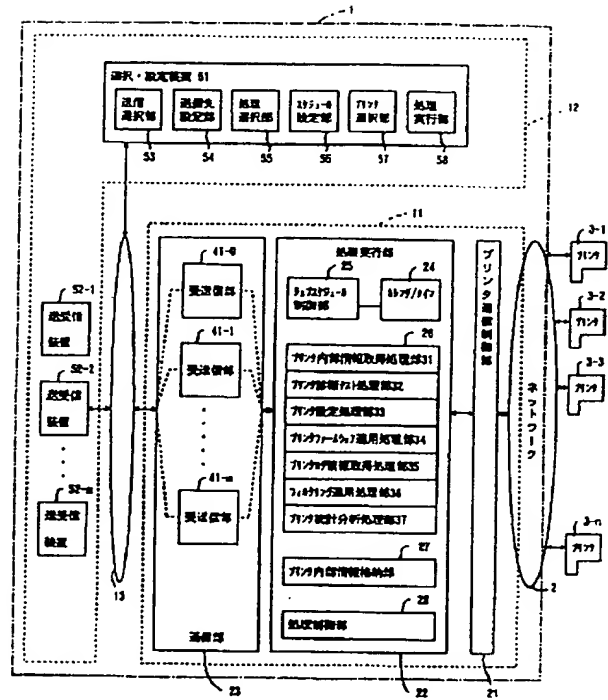
本発明の一実施例のプリンタ装置運用管理システムの概略構成図



【図7】

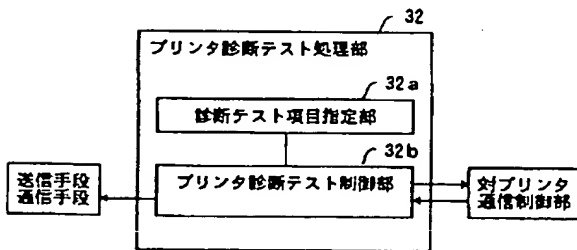
【図5】

本発明の一実施例のプリンタ装置運用管理システムのブロック構成図



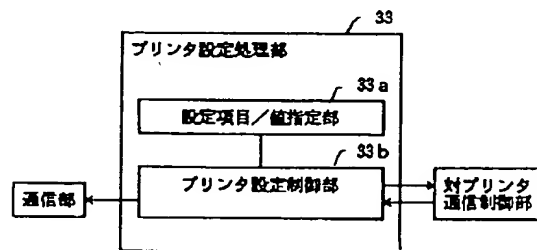
【図8】

本発明の一実施例のプリンタ診断テスト処理部のブロック構成図



【図14】

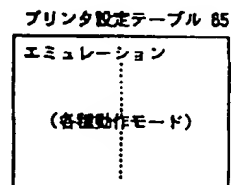
本発明の一実施例のプリンタ設定処理部のブロック構成図



【図19】

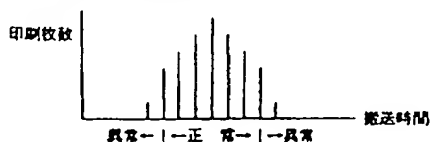
【図20】

本発明の一実施例のプリンタのプリンタ設定テーブルのデータ構成図

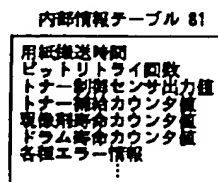


本発明の一実施例の搬送系異常の統計分析を説明するための図

例 搬送時間分布により搬送系の異常を診断

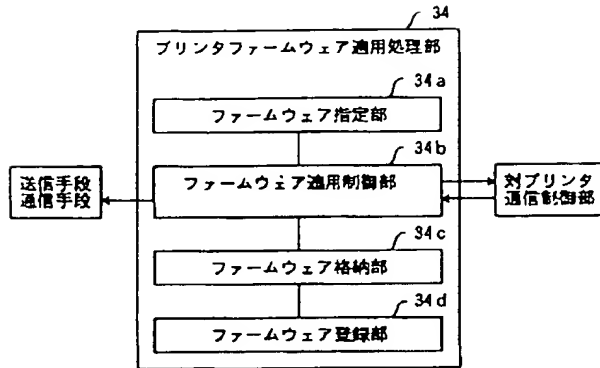


本発明の一実施例のプリンタの内部情報テーブルのデータ構成図



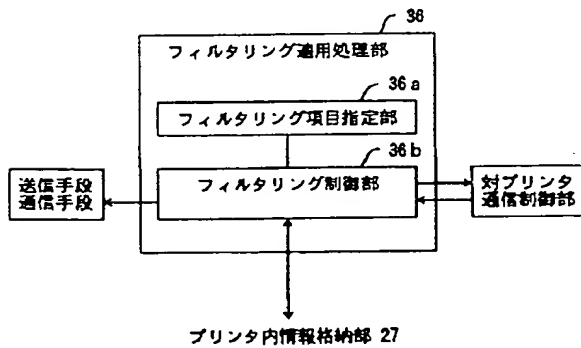
【図 9】

本発明の一実施例のプリンタファームウェア
適用処理部のブロック構成図



【図 11】

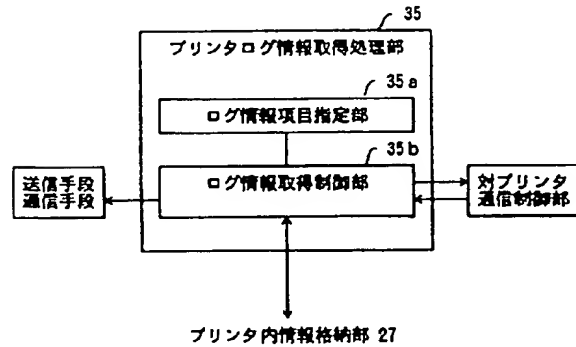
本発明の一実施例のフィルタリング
適用処理部のブロック構成図



【図 15】

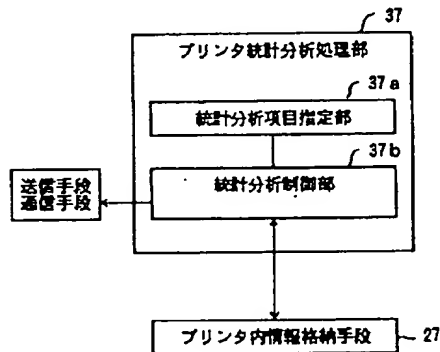
【図 10】

本発明の一実施例のログ情報取得処理部のブロック構成図



【図 12】

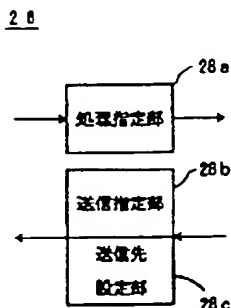
本発明の一実施例のプリンタ統計分析処理部
のブロック構成図



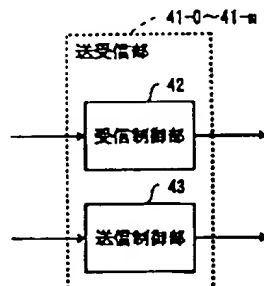
【図 16】

【図 17】

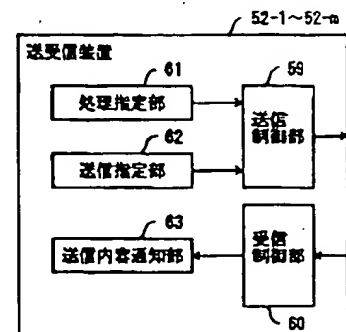
本発明の一実施例の処理制御部のブロック構成図



本発明の一実施例の受送信部のブロック構成図

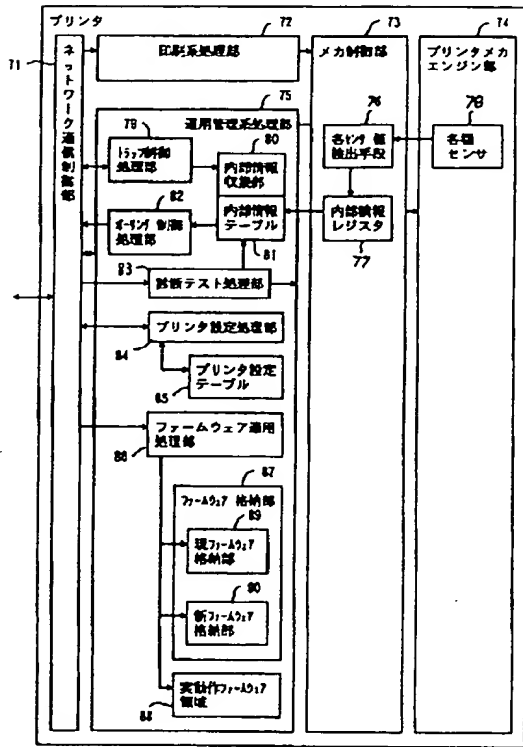


本発明の一実施例のリモート部の
送受信装置のブロック構成図



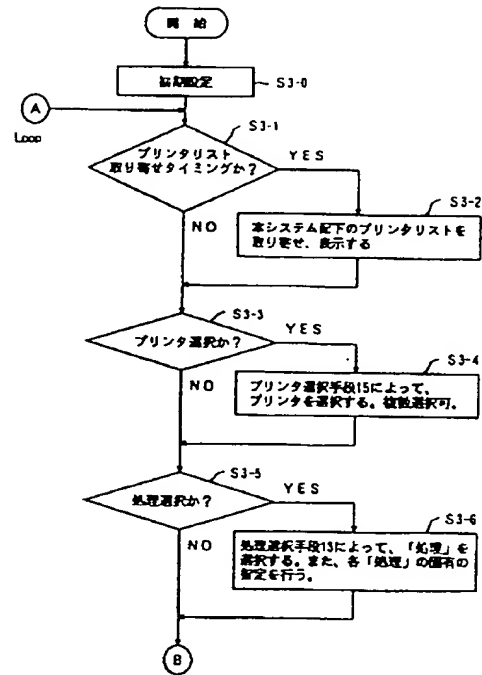
【図18】

本発明の一実施例のプリンタのブロック構成図



【図21】

本発明の一実施例の選択・設定装置の処理フローチャート



【図22】

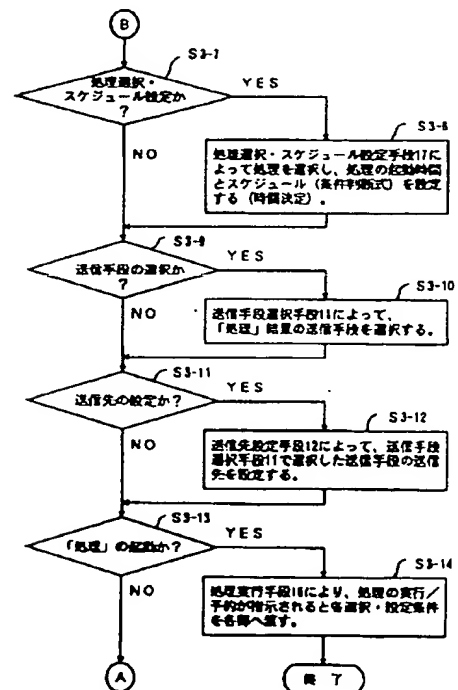
【図29】

本発明の一実施例の選択・設定装置の処理フローチャート

本発明の一実施例の処理スケジュールスタックに設定される制御コード及び処理コードを説明するための図

制御コード	処理コード	意味
Do	(処理コード)	処理コードで表される処理を実行する
Result	(Don't care)	処理結果用に結果を予約する
Result Good	(Don't care)	先頭のDo (処理コード) の実行結果がGoodであったことを表し、Endまで結果が有効
Result NG	(Don't care)	先頭のDo (処理コード) の実行結果がNGであったことを表し、Endまで結果が有効
Result True	(Don't care)	先頭のDo (処理コード) の実行結果がTrueであったことを表し、Endまで結果が有効
Result False	(Don't care)	先頭のDo (処理コード) の実行結果がFalseであったことを表し、Endまで結果が有効
Result Good then Do	(処理コード)	先頭のDo (処理コード) の実行結果がGoodであった場合に処理コードで表される処理を実行する。
Result NG then Do	(処理コード)	先頭のDo (処理コード) の実行結果がNGであった場合に処理コードで表される処理を実行する。
Result True then Do	(処理コード)	先頭のDo (処理コード) の実行結果がTrueであった場合に処理コードで表される処理を実行する。
Result False then Do	(処理コード)	先頭のDo (処理コード) の実行結果がFalseであった場合に処理コードで表される処理を実行する。
End	(Don't care)	Do (処理コード) で始まった一連の処理群が終了したことを表す。

※処理コードは、処理結果コードと処理詳細コード（パラメータなど）で構成される。



【※23】

本発明の一実施例の選択・設定装置の設定画面を示す図

プリンタリスト

(プリンタ名) (IPアドレス)	△
(プリンタ名) (IPアドレス)	
:	
(プリンタ名) (IPアドレス)	▽

設定

51 a

処理項目 1: △

処理項目 2: △

処理項目 3: △

51 b

処理手順

● 処理 ☐ 一処理 ☐ 一処理 ☐

○ 処理 ☐ の結果が ☐ ▽ ならば、処理 ☐

そうでなければ、処理 ☐

51 c

処理結果通知

☐ メール アドレス

☐ FAX 番号

☐ 電話 (留守通知) 番号

51 d

実行タイミング

● 即時

○ 時刻指定 月 日 時 分

設定

51 e

【图 28】

本発明の一実施例の処理スケジュール スタックのデータ構成図

処理スケジュールスタック

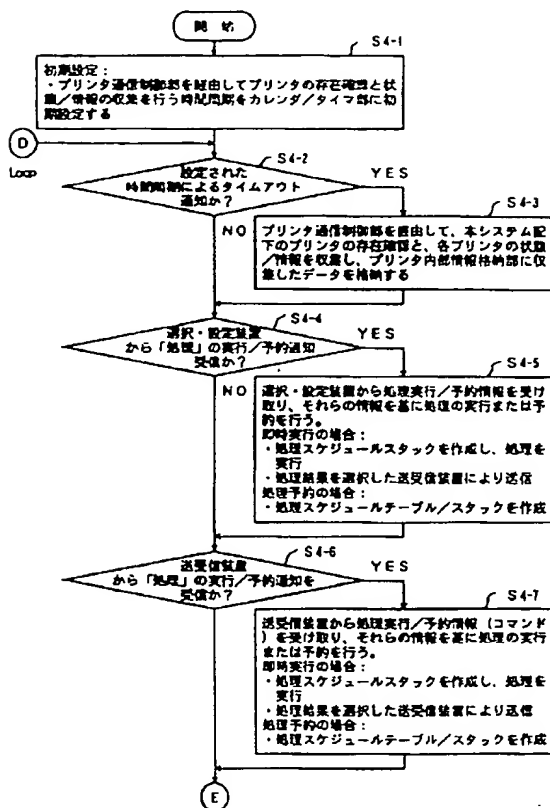
スタックポイント

[illegible]

1979年179が空に
なったら終わり

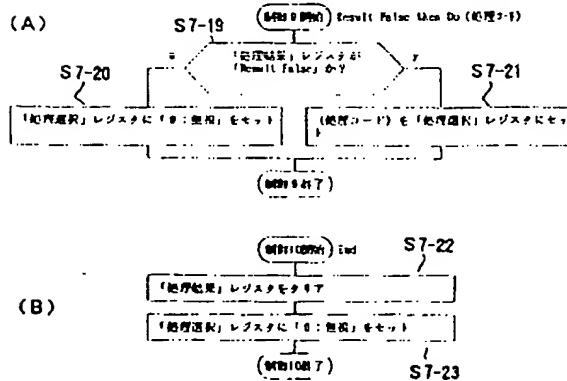
【例 2-4】

本発明の一実施例の処理実行部の処理フローチャート



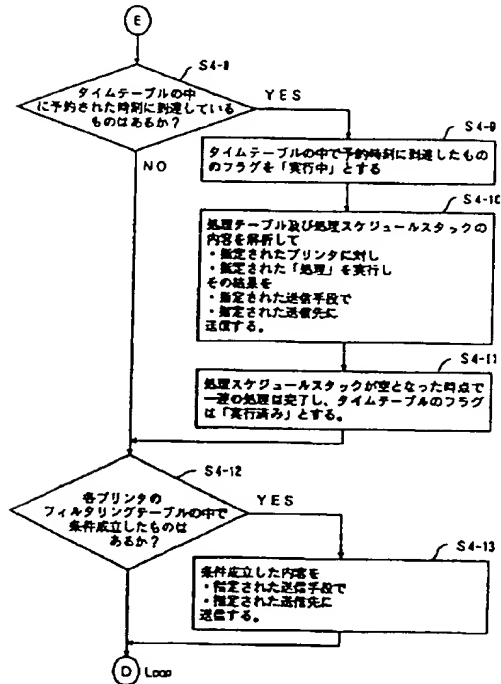
【图 35】

本発明の一実施例の各制御コードの処理フローチャート

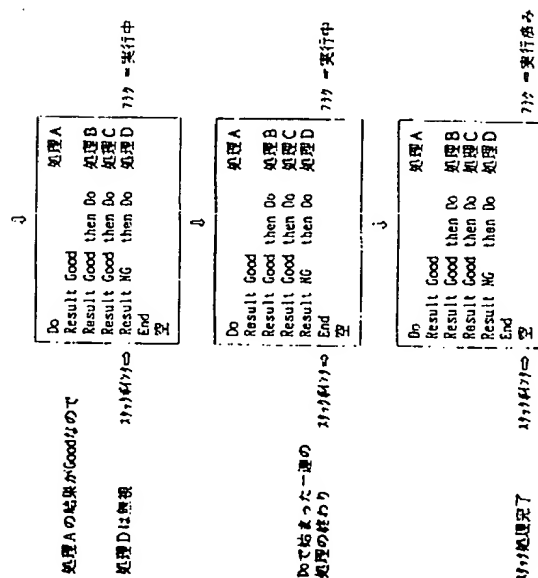


【図25】

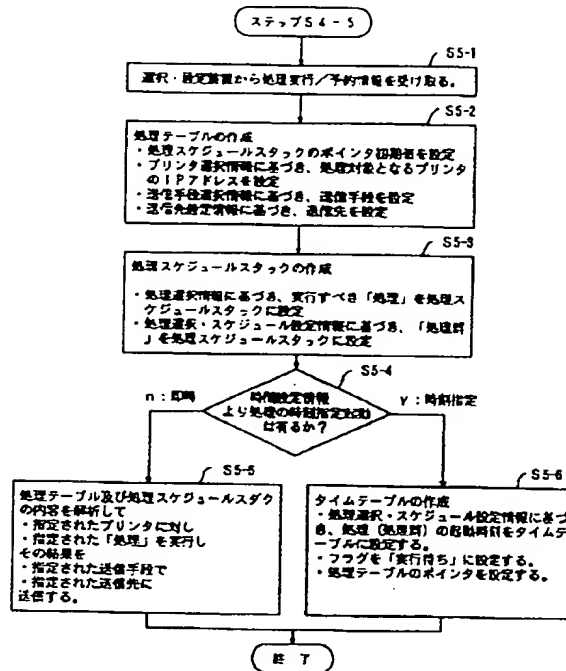
本発明の一実施例の処理実行部の処理フローチャート



【図31】

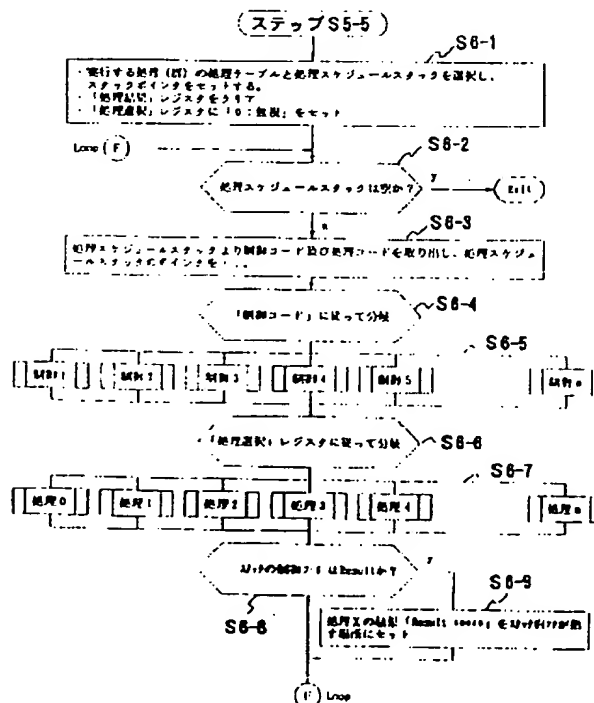
本発明の一実施例の処理スケジュールスタック
による処理の一例を説明するための図

【図26】

本発明の一実施例の処理実行部の
処理実行時及び予約時の処理フローチャート

【図32】

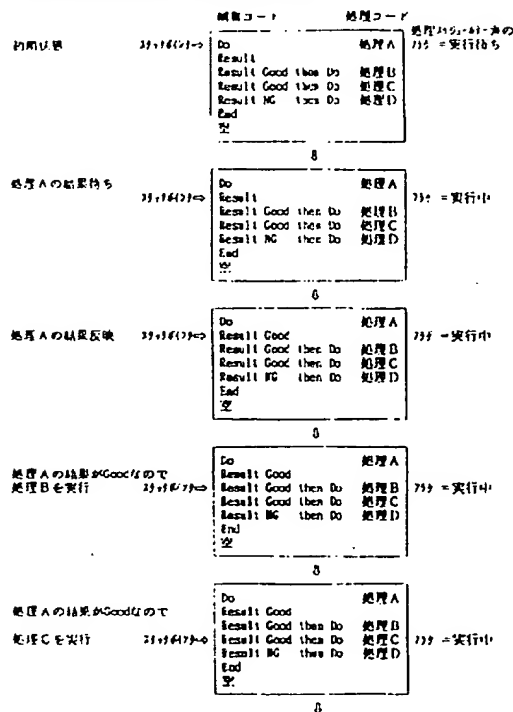
本発明の一実施例の処理実行時の処理フローチャート



$\{[x] : 3 \leq x\}$

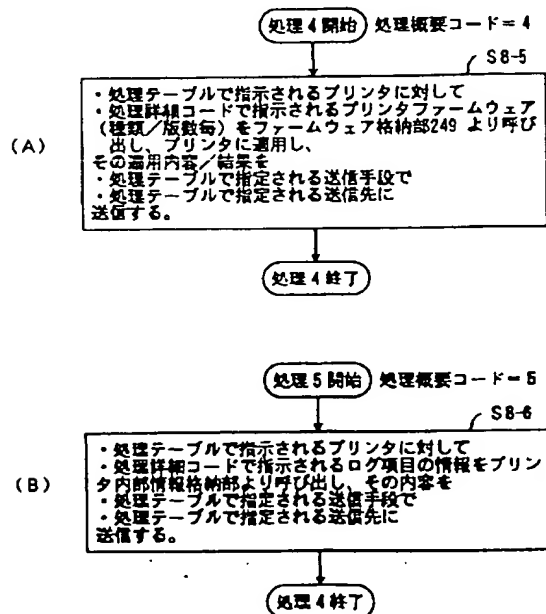
本発明の一実施例の処理スケジュールスタックによる

「処理Aの結果がGoodであれば、処理B、処理Cを実行し、
処理Aの結果がNGであれば、処理Dを実行する。」



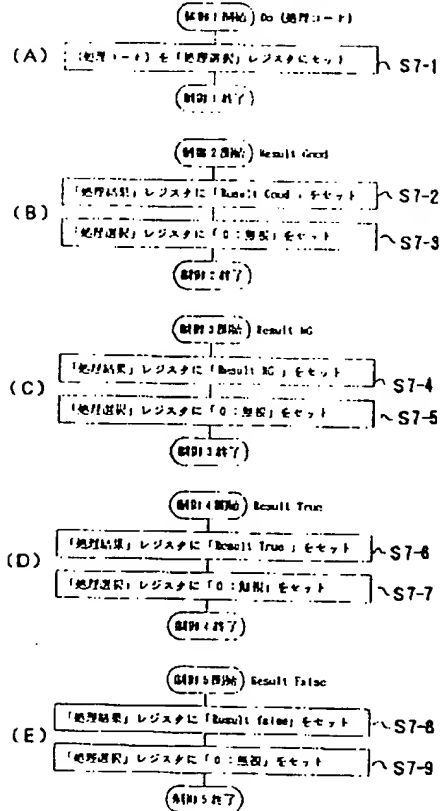
【图 3 7】

本発明の一実施例の各処理コードの処理フローチャート



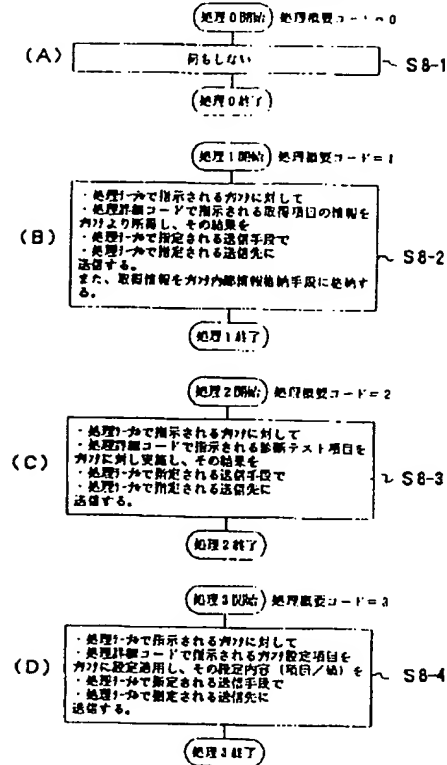
【図33】

本発明の一実施例の各制御コードの処理フローチャート



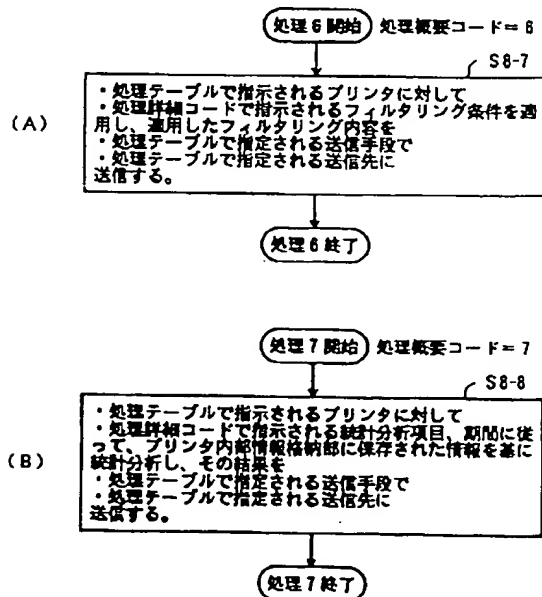
【図36】

本発明の一実施例の各処理コードの処理フローチャート



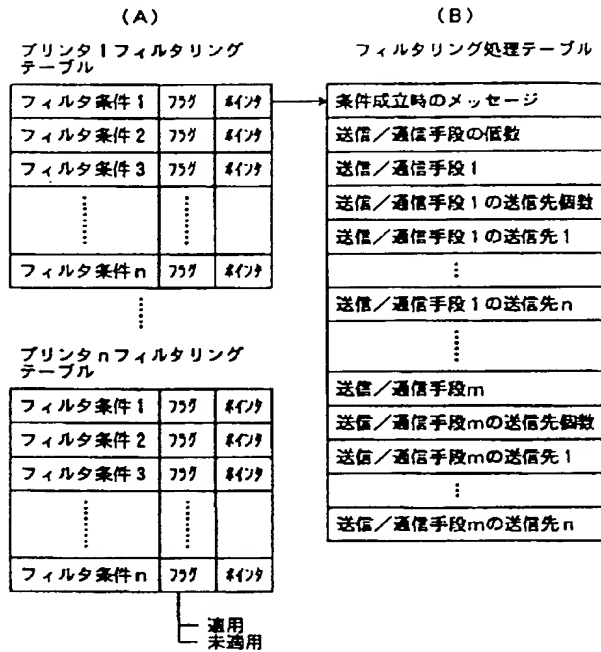
【図38】

本発明の一実施例の各処理コードの処理フローチャート



【図39】

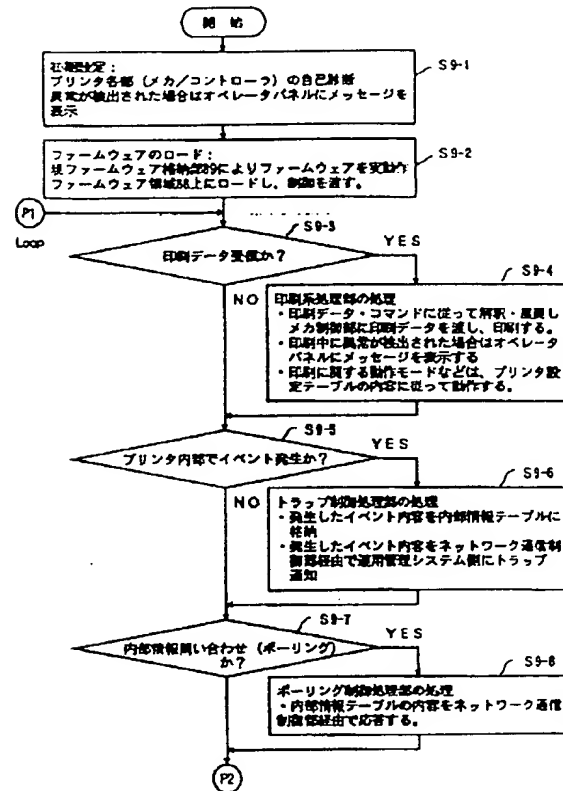
本発明の一実施例のフィルタリング処理の動作説明図



【図43】

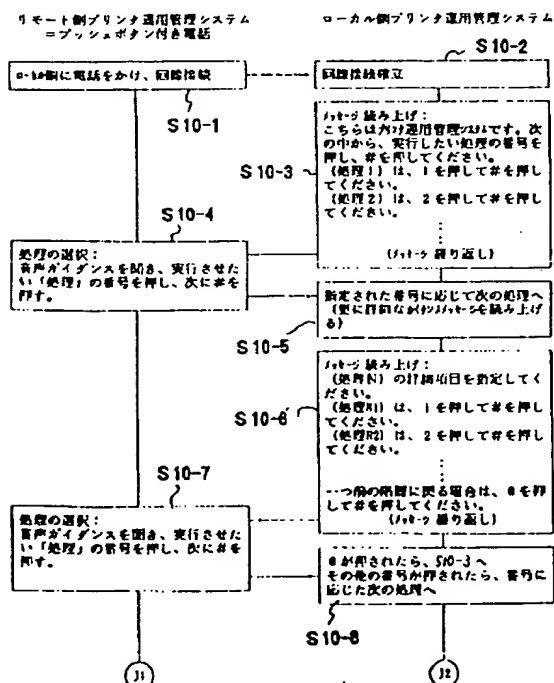
【図40】

本発明の一実施例のプリンタの処理フローチャート



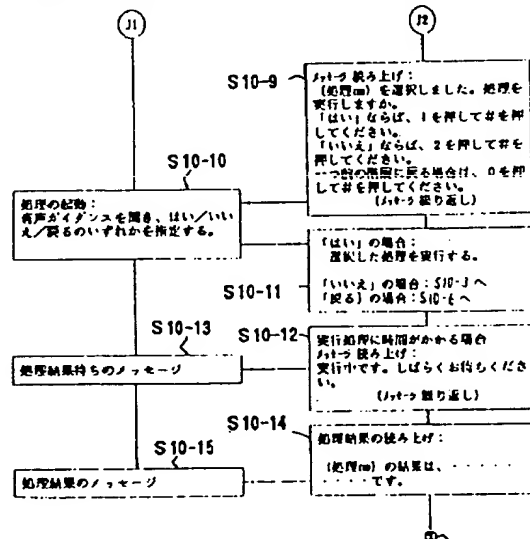
本発明の一実施例の電話による処理要求時の処理フローチャート

○電話(音声ガイダンスボタン操作)による処理要求



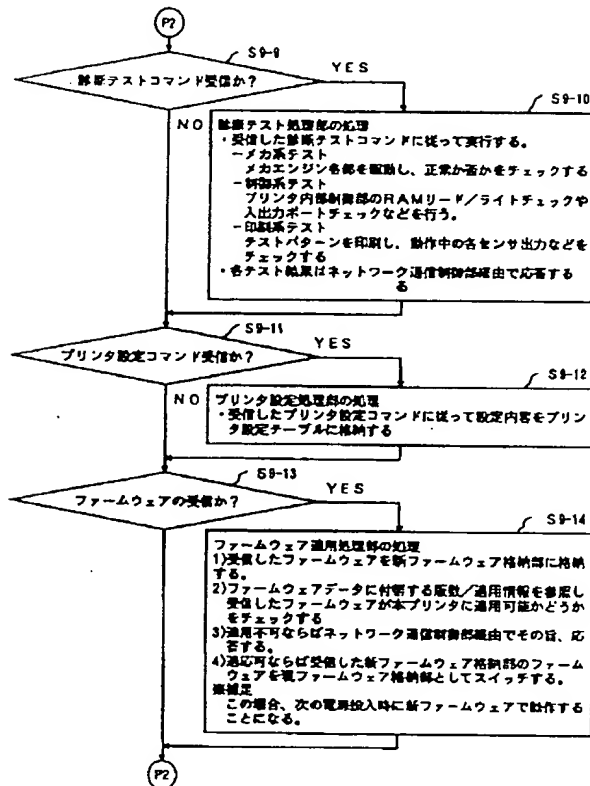
【図44】

本発明の一実施例の電話による処理要求時の処理フローチャート



【図 4 1】

本発明の一実施例のプリンタの処理フローチャート



【図 4 2】

本発明の一実施例の電子メールによる処理要求を説明するための図

○ノールによる処理要求・・・ノールの本文に次のコマンドを記述する。

コマンド	パラメータ	意味
Set	Target Printer, Ip	IPアドレスで示すプリンタを選択する
	Target Printer, Name	プリンタで示すプリンタを選択する
	Target Printer, Model	プリンタで示すプリンタを選択する
	Response, Route, Mail, Address	処理結果を指定したプリンタにFAXで送る
	Response, Route, Fax, No	FAX番号で処理結果を指定したプリンタにFAXで送る
	Response, Route, Tel, No	電話番号で処理結果を指定したプリンタにFAXで送る
	ActionTiming, KDMS	処理実行の時刻を設定
	ActionTiming, immediately	処理の即時実行を設定
Get	PrinterList	プリンタリストを取り寄せる
	PrinterInformation, status	プリンタの稼働状況を取り寄せる
	PrinterInformation, IOK	プリンタ内部の動作を取り寄せる
	PrinterInformation, Rev	プリンタのバージョンを取り寄せる
	TestResult	テスト結果を取り寄せる
Test	Connection	プリンタとの接続を確認
	Mechanism	プリンタの機構を確認
	Controller	プリンタの制御系を確認
	Alities	プリンタの全機能を確認

(A)

(B)

コマンドの記述例
 <Set>Response, Route, Mail, Address(****@****.co.jp) [処理結果をFAXで通知]
 <Set>Target, Printer, Ip(****.****.****.****) [処理結果をFAXで通知]
 <Set>ActionTiming, immediately [即時実行]
 <Test>Alities [全機能を確認]
 <Get>TestResult [テスト結果を送る]

フロントページの続き

- (72) 発明者 熊 庸雄
 神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番
 1号 富士通株式会社内
 (72) 発明者 石山 航太
 神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番
 1号 富士通株式会社内

Fターム(参考) 2C061 AP01 BB11 HQ01 HQ17 HV16
 HV21 HV26
 5B021 AA01 BB01 BB10 CC05 CC06
 EE04 XX16 NN17
 5B042 GA36 JJ03 JJ08 JJ17 MA05
 MB02 MC15 MC19 MC40 NN45
 NN52 XX53 NN56
 5B089 GA13 GA23 GB02 JA35 JB10
 JB16 JB17 JB19 KA13 KBO4
 KC30 MC02 MD02